



# 目 次

2024年度学年暦・授業時間割	2
2024年度履修登録および成績等に関する日程	3
<b>I 履修</b>	5
授業科目の履修について	6
1 授業科目の履修	6
2 履修登録	7
3 Oh-o!Meijiシステムからのお知らせ転送設定	13
履修ならびに卒業要件について（2024年度入学者）	14
1 卒業に必要な単位数と卒業要件	14
2 授業科目の履修条件	15
3 進級要件	19
4 3年次早期卒業制度	20
<b>II WEB履修登録要領</b>	21
1 履修登録スケジュール	22
2 「WEB履修登録システム」操作手順	23
<b>III 試験・成績</b>	29
1 試験およびレポート提出について	30
2 成績について	31
3 コースの選択について	32
4 専門演習について	32
5 学習支援制度について	33
6 その他	33
【資料】レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意	35
<b>IV 授業科目</b>	37
1 授業科目一覧（2024年度入学者）	38
2 コース科目群について（2024年度入学者）	46
3 外国語（英語）で授業を行う科目一覧	52
<b>V その他</b>	53
1 2024年度 法学部クラス主任	54
2 和泉キャンパス案内	55
2024年度履修計画表	57

## 2024年度学年暦

春 学 期		4月 1日(月) ~	9月 19日(木)
入 学 式		4月 7日(日)	
学 習 指 導		4月 1日(月) ~ 4月 9日(火)	
授 業 期 間		4月10日(水) ~ 7月22日(月)	
	前半集中開講科目(S1)※	4月10日(水) ~ 6月 3日(月)	
	後半集中開講科目(S2)※	6月 4日(火) ~ 7月22日(月)	
臨時休業(休講)日		5月 1日(水) ・ 5月 2日(木)	
休日授業実施日①		4月29日(月) [昭和の日]	
休日授業実施日②		7月15日(月) [海の日]	
補 講 日 ①	※土曜日の通常時限を利用	5月25日(土) ・ 6月 1日(土)	
補 講 日 ②	※土曜日の通常時限を利用	7月13日(土) ・ 7月20日(土)	
定 期 試 験	※予備日を含む	7月23日(火) ~ 7月31日(水)	
夏 季 休 業		8月 1日(木) ~ 9月19日(木)	
秋 季 卒 業 式		9月19日(木)	
秋 学 期		9月 20日(金) ~	3月 31日(月)
秋 季 入 学 式		9月19日(木)	
学 習 指 導		9月18日(水)	
授 業 期 間		9月20日(金) ~ 1月23日(木)	
	前半集中開講科目(F1)※	9月20日(金) ~ 11月14日(木)	
	後半集中開講科目(F2)※	11月15日(金) ~ 1月23日(木)	
休日授業実施日①		9月23日(月) [振替休日]	
休日授業実施日②		10月14日(月) [スポーツの日]	
休日授業実施日③		11月23日(土) [勤労感謝の日]	
補 講 日 ①	※土曜日の通常時限を利用	10月19日(土) ・ 10月26日(土)	
補 講 日 ②	※全日補講のみ実施	1月22日(水)	
補 講 日 ③	※全日補講のみ実施	1月23日(木)	
大 学 祭 週 間	※当該期間中は全日休講	10月31日(木) ~ 11月 6日(水)	
明 大 祭		11月 2日(土) ~ 11月 4日(月)	
生 明 祭		11月 2日(土) ~ 11月 4日(月)	
創 立 記 念 祝 日		11月 1日(金)	
臨時休業(休講)日		12月24日(火) ・ 1月18日(土)	
冬 季 休 業		12月25日(水) ~ 1月 7日(火)	
創 立 記 念 日		1月17日(金)	
定 期 試 験	※予備日を含む	1月24日(金) ~ 2月 3日(月)	
春 季 休 業		2月 4日(火) ~ 3月31日(月)	
卒 業 式		3月26日(水)	

※各学期の前半集中・後半集中開講科目の利用は、一部の授業で7週完結授業を導入する学部に限る。  
 ※大学祭週間中の授業休講措置は全キャンパスに適用する。ただし、大学院、専門職大学院において大学祭週間に授業を実施する場合がある。

## 授業時間割

時限	M ※1	1		2		L ※2	3		4		5		6		N ※1
モジュール	m	a	b	a	b	m	a	b	a	b	a	b	a	b	m
時間帯	8:00	9:00	9:50	10:50	11:40	12:35	13:30	14:20	15:20	16:10	17:10	18:00	19:00	19:50	20:50
	8:50	9:50	10:40	11:40	12:30	13:25	14:20	15:10	16:10	17:00	18:00	18:50	19:50	20:40	21:40

※1 原則として、学期を通しての授業は実施しない。  
 ※2 原則として、前後各5分と併せて1時間の昼休みとする。

## 【法学部】2024年度履修登録および成績等に関する日程

月	行 事	実施キャンパス・実施日程等	
		和 泉	駿河台
4月	学生証有効期限・ 通学区間証明シール等配付	【1年】3日(水) ※学生証交付 【2年】 郵送	【3・4年】 郵送
	各種ガイダンス	1日(月)～9日(火)	【4年】在籍原級ガイダンス対面 5日(金) 【3・4年】卒業要件確認ガイダンス オンライン 詳細はOh-o! Meiji システムで確認してください。
	事前申込科目登録期間	一次 4日(木) 13:00 ～ 5日(金) 9:30 二次 6日(土) 10:00 ～ 8日(月) 9:30	
	入学式	7日(日)	
	春学期：授業開始	10日(水)	
	履修登録期間	16日(火) 13:00 ～ 18日(木) 9:30	
	個人別時間割表公開	20日(土) 10:00	
	履修修正期間	23日(火) 13:00 ～ 24日(水) 15:00	
	春学期：休日授業実施日①	29日(月) [昭和の日]	
	5月	臨時休業(休講)日	1日(水)・2日(木)
	春学期：補講日①	25日(土)・6月1日(土)	
7月	春学期：補講日②	13日(土)・20日(土)	
	春学期：休日授業実施日②	15日(月) [海の日]	
	春学期：授業最終日	22日(月)	
8月	春学期：定期試験期間	23日(火)～31日(水)	
	夏季休業	8月1日(木)～9月19日(木)	
9月	春学期：特別試験	中旬～下旬	
	成績公開	上旬	
	学習指導	18日(水)	
	秋季卒業式・入学式	19日(木)	
	授業開始	20日(金)	
	秋学期：休日授業実施日①	23日(月) [振替休日]	
10月	履修修正期間	下旬	
	専門演習ガイダンス	【2年】 上旬	—
	コース制ガイダンス	—	—
	コース選択受付	【1年】 中旬	—
	秋学期：休日授業実施日②	14日(月) [スポーツの日]	
11月	秋学期：補講日①	19日(土)・26日(土)	
	大学祭週間	10月31日(木)～11月6日(水) は全日休講	
	創立記念祝日	1日(金)	
12月	秋学期：休日授業実施日③	23日(土) [勤労感謝の日]	
	卒業ガイダンス	—	【4年】 上旬
	臨時休業(休講)日①	24日(火)	
1月	冬季休業	12月25日(水)～1月7日(火)	
	創立記念日	17日(金)	
	臨時休業(休講)日②	18日(土)	
	秋学期：授業最終日	21日(火)	
	秋学期：補講日②	22日(水)	
	秋学期：補講日③	23日(木)	
2月	秋学期：定期試験期間	1月24日(金)～2月3日(月)	
	秋学期：特別試験	中旬～下旬	
3月	卒業通知	—	【4年・3年早期卒業対象者】 上旬
	卒業式	—	【4年・3年早期卒業対象者】 3月26日(水)

◆ この日程はあくまでも予定であるので、各自必ずOh-o! Meiji システム・掲示板等で確認すること。

2024 年度

法学部新入生  
履修案内

I 履 修



# I 履修

## 授業科目の履修について

### 授業について

- ✓ 授業開始日: 春学期 4月10日 (水)、 秋学期 9月20日 (金)
- ✓ 法学部便覧・シラバスをよく読んだ上で授業に臨むこと。
- ✓ 時間割・教室は変更する場合がありますので、掲示板とOh-o! Meiji システムを確認すること。

## 1 授業科目の履修

### 1 授業科目名称について

- ① 授業科目名に「Ⅰ」、「Ⅱ」および「Ⅲ」と表記している科目は、それぞれ独立した科目であり、半期にて完結するものである。したがって必修科目、半期集中で行う授業等を除き、必ずしもすべてを履修する必要はないが、学習効果を高めるため「Ⅰ」を履修・単位修得したうえで「Ⅱ」、「Ⅱ」を履修・単位修得したうえで「Ⅲ」を履修することが望ましい。
- ② 法学部開講科目は、「Ⅰ」を履修・単位修得できなかった場合でも、「Ⅱ」および「Ⅲ」を履修することは可能である。

### 2 授業科目の配当年次について

法学部では、学習効果を高めるため、授業科目の配当年次を決めている。

- ① 必修科目は、必ず指定された年次で履修すること。
- ② 配当年次は原則として段階的な学習を示しているため、必修科目以外の科目についても、定めている年次において履修・単位修得することが望ましい。
- ③ 自身の学年より下級年次配当科目は履修できるが、上級年次配当科目は履修できない。

### 3 授業科目の配置について

- ① 1・2年次は授業時間割にクラスを指定している科目がある。クラス指定科目は、事前に履修登録されているので（P.10参照）、個人別時間割表を確認する際には、自身のクラスの授業が正しく登録されているか確認すること。
- ② 1・2年次配当科目のほとんどは和泉キャンパスで、3・4年次配当科目は駿河台キャンパスで開講している。したがって、卒業までの履修計画上、和泉キャンパスで開講している科目の単位は2年次までに修得しておくことが望ましい。
- ③ 和泉、駿河台の両キャンパスにおいて同一科目を開講している場合、原則として、在籍するキャンパスで開講している科目を履修しなければならない。
- ④ 同一曜日・時限に複数の科目を履修することはできない。
- ⑤ 異なるキャンパスで連続して授業を受ける場合は、移動時間の都合により、下表の場合以外は認められない。

時限	履修	キャンパス
2 → 3	○	駿河台 → 和泉・中野
		和泉 → 駿河台・生田・中野
		中野 → 駿河台・和泉
		生田 → 和泉

- ⑥ 一度単位を修得した科目は、再度履修することはできない。
- ⑦ 「メディア授業科目」とは、学則第19条の3第2項（便覧：共通事項「各種規程」参照）に定める方法により履修する授業科目をいい、卒業要件のうち60単位を限度として単位を修得することを認めている。毎年度の授業計画により、授業の実施方法を変更することがあるため、メディア授業科目の対象科目および履修上の注意事項は必ず当該年度の情報を確認すること。

## 2 履修登録

「履修登録」とは、自分が受講しようとする授業科目を学部に届け出る手続きのことをいう。1年次のうちは必修・選択必修科目を最優先に学習計画を立てること。なお、クラス指定科目（P.10参照）として、入学時に既に登録されている科目もある。履修登録に際しては、以下に注意し、シラバス、学部便覧を熟読した上で履修登録を行うこと。

### 履 修 登 録 期 間

4月16日（火）13:00～4月18日（木）9:30

#### 法学部の授業について

- ✓ クラス指定科目は予め登録されている。※1
- ✓ シラバス、時間割をもとに履修計画を立てる。※2

※1 P.10参照

※2 巻末の「履修計画表」を活用すること。

## 1 履修登録について

4月にその年度（春学期・秋学期）に履修するすべての科目の履修登録を行う。履修上限単位(1年間で履修登録できる科目の単位数。P.10参照)を超えないように登録すること。また、できる限り必修、選択必修、選択科目の順で優先して申請していくことを強く勧める。

### ① 登録方法

原則として「WEB履修登録システム」にて行う。詳細はP.23以降の『「WEB履修登録システム」操作手順』を参照すること。システムを利用するには、共通認証のID・パスワードが必要となる。パスワードがわからない場合は、法学部事務室で変更の手続きを行うこと（電話でのパスワード変更の申請は不可）。

### ② 履修定員について

法学部開講の科目において、必修科目を除く講義科目では、定員制を設けており、履修希望者が定員を超えた場合には抽選を行う。抽選から漏れた場合は自動的に登録が削除されるので、注意すること。

### ③ その他の履修制限科目

「デジタルコンテンツ A/B」や外国語科目等、一部の科目では履修者の制限を行う場合がある。履修希望者は、シラバスおよび新年度履修関連資料で詳細を確認し、必ず初回授業に出席すること。

#### ●履修登録終了後に抽選を行う科目

科目名	開講地区	担当者	定員	注意事項
法学部開講講義科目	和泉 駿河台	各担当者	科目・教室定員による	履修登録終了後、定員を超えた科目について抽選を行う。  【結果確認方法】 「当選」の場合 →『履修登録確認画面』に「抽選確定」または「事前登録」と表示される（「個人別時間割表」に該当科目が記載されている）。 「落選」の場合 →『履修登録確認画面』に「抽選もれ」と表示される（「個人別時間割表」には記載されない）。他科目の履修を希望する者は、履修修正期間に追加登録すること。
法律英語 I・II	和泉	柳川 鋭士	60	
法・情報・社会 A・B		小倉 秀夫	48	
デジタルコンテンツ A		高見澤 秀幸	70	
デジタルコンテンツ B		栗山 健	48	
法律外書講読 I・II	駿河台	全担当者	20	

④ 注意事項

- ・履修登録を行っていない科目の履修や聴講、試験を受けることは認められない。
- ・所定の期間に履修登録を行わないと、その年度の授業科目の履修・単位修得はできなくなる。やむを得ない理由で所定の期間に登録を行えない場合は、履修登録期間前に法学部事務室に相談すること。

⑤ 履修登録のサポート体制

【システムに不具合が生じた場合】

WEB履修登録画面において、履修できるはずの科目が登録できない場合や動作に不具合が生じた場合は、法学部事務室に報告すること。ただし、履修登録期間後の申し出は無効となるので、登録は余裕を持って行うこと。

【インターネットに接続できる環境にない場合】

自宅にパソコンがない、インターネットの調子が悪い等、WEB履修登録画面へアクセスできない場合は、学内のパソコンを利用することができる。ただし、利用は法学部生だけではないので、混雑を想定し、余裕を持った履修登録を心がけること。

【和泉キャンパス：メディア棟2階メディア自習室、CALL自習室開室時間】

	平日	土曜
メディア自習室・CALL自習室	8：50～19：20	8：50～16：20

[閉室]

・日曜日 ・休日授業実施日以外の祝日 ・入学試験実施期間 ・休講措置が取られた場合等

※最新の開室情報はこちらで確認すること。

→ <https://www.meiji.ac.jp/ws/sys/timetable.html>





## 2 クラス指定科目について

以下の科目はクラス指定科目といい、履修登録期間よりも前に予め登録されている科目である。正しく登録されているか4月4日（木）以降に個人別時間割表にて確認すること。

法律リテラシー、法学部生のための日本語Ⅰ・Ⅱ
English AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ、初級ドイツ語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ（※1）、 初級フランス語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ（※1）、初級中国語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ、初級スペイン語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ、 初級ロシア語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ、日本語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ（※2）
基礎運動実習Ⅰ・Ⅱ
憲法（人権）Ⅰ・Ⅱ、刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ、民法（総則）Ⅰ・Ⅱ、

- ※1 ドイツ語またはフランス語の入学試験を受けて入学した学生向けに、「特別ドイツ語」および「特別フランス語」の授業を用意している。希望者は4月5日（金）17：00までに法学部事務室窓口にて履修クラスを申請すること。ただし、ドイツ語またはフランス語で受験しなかった学生でも、能力次第でこれらの科目を履修することができる。担当教員の許可を得たのち、法学部事務室窓口にて申請すること。
- ※2 留学生は「日本語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ」、「English AⅠ・Ⅱ」および「English BⅠ・Ⅱ」が予め登録されている。

## 3 履修上限単位

1年次から4年次まで、段階的かつ計画的に学習できるよう、各年次で履修登録できる単位を設定しており、これを超えて履修することはできない。学年ごとの履修上限単位数は以下のとおり。

	1年次	2年次	3年次	4年次
履修単位数	44	49	49	49
履修上限単位数 除外科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Legal Studies Abroad AⅠ～EⅡ」</li> <li>・「Japanese Law Study in English AⅠ・Ⅱ」</li> <li>・学部間共通外国語科目（ただし、4年次に自由選択科目として単位振替を申請する場合は、4年次の履修上限単位に含まれる）</li> <li>・「グローバル人材育成プログラム科目」の一部</li> <li>・「教職」、「学芸員養成」、「社会教育主事」、「司書」、「司書教諭」各課程設置科目</li> <li>・他学部主催の「海外留学」を伴う科目</li> <li>・各大学院設置科目</li> <li>※「再履修科目」の単位数は、履修上限単位に含まれる。</li> </ul>			

## 4 個人別時間割表について

4月20日（土）10：00より、Oh-o! Meijiシステムのクラスウェブにて個人別時間割表の公開を開始する。各自で履修登録内容を確認し、履修エラーや履修変更がある場合は、履修修正期間に所定の手続きをとること。また、修正手続きをした者は所定の期間に再度個人別時間割表を確認すること。

- ※個人別時間割表に「必修単位数が不足しています」とエラーが表示された場合、必修科目が修得できていないことに対する注意喚起である。そのままだも履修には支障をきたさないが、当該科目を再履修するまでそのエラーは表示される。

## 5 履修修正について

履修登録後に履修修正を行う場合は、以下のとおり申請を行うこと。なお、履修削除できない科目や、修正内容を制限している科目があるので注意すること。

### ① 申請期間・方法

履修修正を希望する者は、次に定める**履修修正期間**に「WEB履修登録システム」にて行う。また、修正申請後は所定の期間に個人別時間割表にて、修正内容を確認すること。なお、期間中に修正し忘れた場合、エラー表示されている科目はすべて削除され、追加登録は一切できないので十分に注意すること。

春学期	4月23日（火）13：00～4月24日（水）15：00
秋学期	9月下旬（予定）

### ② 履修修正時に修正内容を制限している科目

**【追加・変更・削除不可】**

- ・全学共通科目
- ・クラス指定科目
- ・事前登録科目
- ・他学部設置科目
- ・スポーツ実習（駿河台開講科目は削除のみ可）

**【削除のみ可（ただし、やむを得ない理由がある場合に限り）】**

- ・履修登録時に抽選を実施した科目（定員を超過した科目）

※履修状況により、修正制限の内容が変更になる場合もあるので注意すること。

※修正後の個人別時間割表については、再度「Oh-ol Meijiシステム」にて確認すること。

※専門演習の変更等については、必ず法学部事務室に相談すること。

## 6 法学部設置科目以外の履修登録

### ① 他学部履修

法学部に設置していない他学部の授業科目を履修することを「他学部履修」といい、60単位（卒業要件としては最大16単位）を限度として、単位を修得することを認めている。

i 次の科目は他学部履修を認めない。

- ・法学部に設置されている科目および科目名・内容がそれに準ずる科目
- ・実験、実習、演習科目
- ・科目設置学部で履修を許可しない科目
- ・その他、履修不許可の指示がある科目

ii 修得した単位は、法学部の自由選択科目となる。

iii 履修上限単位に含む。なお、夏季・春季休業期間に実施する一部科目（海外留学を伴うもの）は履修上限単位に含まずに履修できる（ただし、春季プログラムへ参加する4年生への単位付与は一切認めない）。

iv 「教職」、「学芸員養成」、「社会教育主事」、「司書」、「司書教諭」各課程設置科目および各大学院設置科目は、他学部履修には該当しない。

v 履修希望者は、本学ホームページ「他学部履修に関する情報について」を確認のうえ、履修登録期間にWEB上で登録を行うこと。

### ② 大学院法学研究科設置科目

4年次に在籍し、本学大学院法学研究科への進学を希望し、研究科が定める履修資格を有する者は、法学研究科博士前期課程の講義科目および大学院研究科間共通科目を16単位まで履修することができる。修得した単位は、学部の卒業要件に含めることはできないが、大学院進学後に、審査のうえ、大学院の修得単位として認められ、標準年限短縮制度を利用することで、1年で博士前期課程を修了し、学部・大学院を5年間で卒業・修了することも可能である。

### ③ 専門職大学院法務研究科設置科目

3年次以上に在籍し、本学専門職大学院法務研究科への進学を希望し、履修科目の授業担当教員の許可を得た者は、本学専門職大学院法務研究科の科目の一部を履修することができる。修得した単位は、学部の卒業要件に含めることはできないが、本学専門職大学院法務研究科進学後に、審査のうえ、入学前の既修得単位として単位認定を受けることができる。

④ 専門職大学院会計専門職研究科設置科目

3年次以上に在籍し、本学専門職大学院会計専門職研究科への進学を希望し、本学専門職大学院会計専門職研究科の許可を得た者は、本学専門職大学院会計専門職研究科が指定する科目を10単位まで履修することができる。修得した単位は、学部の卒業要件に含めることはできないが、本学専門職大学院会計専門職研究科進学後に、審査のうえ、大学院の修得単位として認められる。

⑤ 全学共通総合講座（全学共通科目）

講座一覧、履修方法等については、学年の始めに大学ホームページ『全学共通総合講座シラバス』を参照すること。

⑥ 情報関係科目（全学共通科目）

登録期間、授業内容、履修方法等については、学年の始めに大学ホームページ『情報関係科目シラバス』を参照すること。

⑦ 学部間共通外国語科目（全学共通科目）

講義一覧、履修方法については、学年の始めに大学ホームページ『学部間共通外国語シラバス』を参照すること。

⑧ グローバル人材育成プログラム科目（全学共通科目）

登録期間、授業内容、履修方法等については、大学ホームページ『グローバル人材育成プログラム』を参照すること。これらは、入学年度により履修可能な科目が異なるので、注意すること。

⑨ 資格課程関係科目（全学共通科目）

「教職」、「学芸員養成」、「社会教育主事」、「司書」、「司書教諭」各課程設置科目の履修を希望する者は各課程のガイダンスに出席し、指示を受けること。詳細は、大学ホームページ『資格課程案内』または資格課程事務室で確認すること。

### 3 Oh-o! Meijiシステムからのお知らせ転送設定

大学からOh-o! Meijiシステムへ配信された休講情報や教室変更などのお知らせを、個人のメールアドレスへ転送することで、大学からのお知らせを携帯電話やスマートフォンで確認することができる。大学からの重要なお知らせを見逃すことのないように、以下の手順で各自設定をしておくこと。

- ① 「Oh-o! Meijiシステム」にログイン後、上部の<個人設定>を選択。



- ② <お知らせ転送設定>で以下の設定を行い、<確認画面へ進む>を選択。

A：転送先メールアドレス / B：各カテゴリでの転送の有無及び転送する内容

お知らせ転送設定

転送メールアドレスを登録した場合、自動で確認メールが送信されます。

転送先1

転送先メールアドレス1	メールアドレスの禁止文字について

転送内容1

個人宛・所属事務室からのお知らせ	
個人宛のお知らせ	タイトル/本文を転送
所属事務室からのお知らせ	タイトル/本文を転送
授業に関するお知らせ	
休講・補講	タイトル/本文を転送
時間割変更・教室変更	タイトル/本文を転送
クラスウェブ	タイトル/本文を転送
グループ	タイトル/本文を転送
その他のお知らせ	
就職	転送無し
学生支援	転送無し
その他	転送無し
クラスウェブの更新通知	
更新通知	転送無し

上記内容でよろしければ「確認画面に進む」ボタンをクリックして次に進んでください。

保存せずにポータルHOME画面に戻る

確認画面に進む

- ③ 確認画面で設定に問題がなければ、<登録する>を選択し、完了。

上記内容でよろしければ「登録」ボタンをクリックください。

登録する

# 履修ならびに卒業要件について (2024年度入学者)

## 1 卒業に必要な単位数と卒業要件

法学部に4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、所定の単位を修得し、卒業した者に「学士(法学)」の学位を授与する。ただし、成績優秀で所定の要件を満たす者については、3年次早期卒業を認める場合がある(P.20参照)。

下表を見る際は、必ず下部記載の留意事項、各科目群の履修条件を併せて確認すること。

科目群	必要修得単位数				卒業要件等
	必修	選択必修	選択	自由選択	
基礎科目群	6				16 「法律リテラシー」および「法学部生のための日本語Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。 12単位以上を修得しなければならない。ただし、国際関係法コース選択者は12単位とは別にコース専門文化科目として「地域と文化」から8単位以上を修得しなければならない。 2か国語を選択し、外国語科目Ⅰを8単位、外国語科目Ⅱを8単位、計16単位を修得しなければならない(1か国語につき10単位を限度とする)。外国語科目Ⅰと外国語科目Ⅱで必要単位数を超えた単位、外国語科目Ⅲで修得した単位は、自由選択科目の単位となる。 「基礎運動実習Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。 全科目24単位を修得しなければならない。 「専門演習AⅠ・Ⅱ」および「専門演習BⅠ・Ⅱ」を必修とする。 各コースに定められた必修条件ならびに選択必修条件を満たして、44単位以上を修得しなければならない。必要単位数を超えた単位と他コース配当科目で修得した単位は自由選択科目の単位となる。 ※詳細は、17～18ページ参照
教養科目群			12		
外国語科目群				16	
保健体育科目群	2				
法律必修科目群	24				
演習科目群	8				
法曹コース科目群					
公共法務コース科目群					
ビジネスローコース科目群				44	
国際関係法コース科目群					
法と情報コース科目群					
自由選択科目群					
留学関係科目群					
合計				128	4年次は、卒業要件に含まれる科目のうちから、12単位以上を修得しなければならない。

### 留意事項

- ① 卒業に必要な単位のうち、3年次終了時までには88単位以上、または4年次春学期終了時までには108単位以上の単位を修得した者には、4年次の所定の時期に「卒業見込証明書」を発行する。
- ② 4年次に12単位以上を修得できず卒業できなかった場合は、次年度以降、満たさなかった分の単位を修得しなければならない。
- ③ 4年間で卒業要件の単位を修得できないときは、所定の手続きを取ることで引き続き在学することができる。ただし、8年を超えて在学することはできない。

## 2 授業科目の履修条件

各科目群の授業科目は、次のように履修し、単位を修得しなければならない。

### 1 基礎科目群

「法律リテラシー」および「法学部生のための日本語Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とする。

### 2 教養科目群

12単位以上を修得しなければならない。ただし、国際関係法コース選択者は12単位とは別にコース専門文化科目として「地域と文化」から8単位以上を修得しなければならない。

### 3 外国語科目群

- ① English、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語および日本語のうちから2か国語を選択し、外国語科目Ⅰを8単位、外国語科目Ⅱを8単位、計16単位（1か国語につき10単位を限度とする）を修得しなければならない。ただし、母国語を選択することはできない。
- ② 選択した外国語を入学後に変更することはできない。また、選択した2か国語以外の外国語を履修した場合、仮に単位を修得しても卒業要件には含まれない。
- ③ 日本語科目の履修は、外国人留学生に限る。また、外国人留学生は選択必修科目および選択科目として母国語を履修することはできない。
- ④ ドイツ語またはフランス語を選択する場合は、以下の点に注意すること。
  - i 外国語科目Ⅰのうち、「初級ドイツ語AⅠ・Ⅱ」、「初級フランス語AⅠ・Ⅱ」を必修とする。
  - ii 外国語科目Ⅰにおいて4単位を超えて修得した場合、超えた分の単位は自由選択科目の単位となる。
- ⑤ ドイツ語、フランス語またはスペイン語を選択する場合、「中級AⅠ・Ⅱ」、「中級BⅠ・Ⅱ」については、少なくともどちらか一方の単位を修得することが望ましい。
- ⑥ 外国語科目Ⅰおよび外国語科目Ⅱにおいて、2か国語16単位を超えて修得した場合、超えた分の単位は自由選択科目の単位となる。
- ⑦ 外国語科目Ⅲについては、自由選択科目となる。
- ⑧ 学部間共通外国語科目は、自由選択科目に単位振替をしたものも含めて、選択必修科目とすることはできない。
- ⑨ 学部間共通外国語科目および留学生共通日本語科目の自由選択科目への単位振替について
  - i 次の科目から、併せて8単位を限度として自由選択科目の単位として振り替えることができる。ただし、日本語科目は、外国人留学生に限る。

英 語：「English Communication I A・B」、「English Communication I C」、  
「English Communication II A・B」、「English Communication II C」、  
「English Communication III A・B」、「English Communication III C」  
ド イ ツ 語：「ドイツ語会話 I A・B」、「ドイツ語会話 II A・B」、「ドイツ語会話 III A・B」  
フランス語：「フランス語会話 I A・B」、「フランス語会話 II A・B」、「フランス語会話 III A・B」  
中 国 語：「中国語会話 I A・B」、「中国語会話 II A・B」、「中国語会話 III A・B」、  
「資格中国語 A・B」  
ロ シ ア 語：「ロシア語 I A・B」、「ロシア語 II A・B」、「ロシア語会話 I A・B」、  
「ロシア語会話 II A・B」  
スペイン語：「スペイン語 I A・B」、「スペイン語 II A・B」、「スペイン語会話 I A・B」、  
「スペイン語会話 II A・B」  
そ の 他：「韓国語 I A・B」、「韓国語 II A・B」、「古典ギリシア語 I A・B」、  
「ラテン語 I A・B」、「イタリア語 I A・B」、「イタリア語 II A・B」、  
「アラビア語 I A・B」、「アラビア語 II A・B」、  
「日本語（上級総合） A・B」、「日本語（上級口頭表現） A・B」、  
「日本語（上級文章表現） A・B」

- ii 履修方法、その他の注意事項については、『学部間共通外国語シラバス』、『日本語・留学生共通日本語「日本語（上級）」シラバス』等を参照すること。
- iii 単位振替を希望する場合は、**4年次春学期の履修登録時**に所定の願書を法学部事務室に提出しなければならない。なお、単位振替を行う場合、その分の単位数は4年次に修得した単位とみなされ、4年次の履修上限単位に含まれる。

⑩ 「特別ドイツ語」および「特別フランス語」は、入学試験時に、外国語科目でドイツ語またはフランス語を選択した学生を対象に設置された特別語学科目（和泉キャンパス共通科目）である。ただし、ドイツ語またはフランス語で受験しなかった学生でも、能力次第でこれらの科目を履修することができる。担当教員の許可を得たのち、法学部事務室で履修登録すること。

#### 4 保健体育科目群

- ① 「基礎運動実習 I・II」を必修科目とする。
- ② 「スポーツ実習」は、担当教員またはテーマ（授業内容）が異なれば、複数履修することができる。

#### 5 法律必修科目群

全科目24単位を修得しなければならない。

#### 6 演習科目群

- ① 「専門演習 A I・II」および「専門演習 B I・II」を必修科目とする。
- ② 「特設演習（留学生向け）」については、以下に注意すること。
  - i 海外地域指定校推薦入試により**秋学期入学**をした学生が対象となる。対象となる学生は、必ず履修すること。
  - ii この科目は履修上限単位に含まれず、修得した単位は卒業要件外となる。ただし、単位修得した場合、本人の申請に基づき4年次に「専門演習 B II」に単位振替をすることができる。この場合、4年次に修得した単位とみなされ、4年次の履修上限単位に含まれる。

## 7 各コース科目群

コース名	科目区分	必要修得単位数		
		必修・ 選択必修	選択	計
法 曹	コース専門法律科目 <sup>③ i</sup>	18	14	32
	コース展開・先端科目		4	4
	基礎法・外国法科目		8	8
	計	18	26	44
公 共 法 務	コース専門法律科目 <sup>③ ii</sup>	8	16	24
	コース展開・先端科目		12	12
	基礎法・外国法科目		8	8
	計	8	36	44
ビジネスロー	コース専門法律科目 <sup>③ iii</sup>	8	16	24
	コース展開・先端科目		12	12
	基礎法・外国法科目		8	8
	計	8	36	44
国 際 関 係 法	コース専門法律科目 <sup>③ iv</sup>	8	12	20
	コース専門文化科目		8	8
	グローバル・スタディーズ科目		8	8
	基礎法・外国法科目		8	8
	計	8	36	44
法 と 情 報	コース専門法律科目 <sup>③ v</sup>	8	20	28
	コース専門情報科目		8	8
	基礎法・外国法科目		8	8
	計	8	36	44

- ① いずれか1つのコースを選択し、各コースで定められた必修・選択必修条件および選択条件を満たして、合計44単位以上修得しなければならない。また、各区分で定められた単位を超えて修得した場合、超えた分の単位は自由選択科目の単位となる。ただし、コース専門法律科目において、必修・選択必修科目で定められた単位を超えて修得した場合、超えた分の単位は同科目区分の選択科目の単位となる。
- ② 他コース配当科目の単位を修得した場合は、自由選択科目の単位となる。
- ③ コース専門法律科目の必修・選択必修条件について
- i 法曹コースは、必修科目（7科目14単位）の他に、「民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ」または「刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ」のどちらか一方の科目（2科目4単位）を選択必修とする。
  - ii 公共法務コースは、4科目8単位を必修科目とする。
  - iii ビジネスローコースは、「会社法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、労働法AⅠ・Ⅱ、経済法Ⅰ・Ⅱ、知的財産法AⅠ・Ⅱ」の中から4科目8単位を選択必修とする（組合せ自由）。
  - iv 国際関係法コースは、以下のどちらか一方の条件を満たすことで選択必修とする。
    - (1) 「国際法Ⅰ・Ⅱ」および「国際私法Ⅰ・Ⅱ」の4科目8単位を修得すること。
    - (2) 「国際法Ⅰ・Ⅱ」または「国際私法Ⅰ・Ⅱ」のどちらか一方の科目（2科目4単位）を修得するほか、「Introduction to Modern LawⅠ・Ⅱ、Business Law in EnglishⅠ・Ⅱ、法律英語Ⅰ・Ⅱ、法律外書講読Ⅰ・Ⅱ、留学関係科目FⅠ・Ⅱ、Legal Studies Abroad AⅠ～EⅡ、Japanese Law Study in English AⅠ・Ⅱ」の中から2科目4単位を修得すること（組合せ自由）。
  - v 法と情報コースは、「情報法Ⅰ・Ⅱ、サイバー法A～E、法情報学Ⅰ・Ⅱ」の中から4科目8



単位を選択必修とする（組合せ自由）。

- ④ コース専門法律科目「司法演習Ⅰ・Ⅱ」について  
 担当教員またはテーマ（授業内容）が異なれば、卒業までに2つまで履修することができる。ただし、2年次に重複して履修することはできない。
- ⑤ コース指定されている科目について
- i 法曹コース用の「民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ」、「刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ」および「会社法Ⅰ・Ⅱ」については、法曹コース選択者のみ履修することができる。
  - ii 法曹コース用の「司法演習Ⅰ・Ⅱ」については、法曹コース選択者のみ履修することができる。一般クラス用の「司法演習Ⅰ・Ⅱ」については、法曹コース以外の選択者が履修することができる。
  - iii 法曹コース「一貫教育プログラム」修了要件の必修科目について、以下のとおり読替科目を設置しており、法曹コース選択者のみ履修することができる。なお、「一貫教育プログラム」の詳細は、別途ガイダンス等で周知する。

科目名・単位数 (法学部生共通)			科目名・単位数 (法曹コース用)	
民法（親族）Ⅰ	2	⇒	民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ	各2
民法（親族）Ⅱ	2			
民法（相続）	2			
行政法AⅠ	2	⇒	行政法（総論）※	2
行政法AⅡ	2			
行政法BⅠ	2	⇒	行政法（救済法）	2
行政法BⅡ	2			

※3年次進級時に法曹コースから他コースへコース変更した場合、「行政法（総論）」は自由選択科目の単位となる。

## 8 留学関係科目群

- ① 「留学関係科目AⅠ～FⅡ」は、協定・認定留学した際に、海外の大学で修得した単位を認定するための科目である。
- ② 「留学基礎講座AⅠ～DⅡ」は、留学を目指す学生の事前・事後学習講座として設置している。法学部主催の短期海外法学研修の参加にあたり、履修が必須となる場合がある。詳細は、各研修のガイダンス時に確認すること。
- ③ 「Legal Studies Abroad AⅠ～EⅡ」は、法学部が実施する短期海外法学研修に参加し、単位修得する際の科目となっている。なお、4年次に参加する場合、卒業を希望する時期によっては単位修得できないので注意すること。
- ④ 「Japanese Law Study in English AⅠ・Ⅱ」は、法学部が実施する夏期短期集中プログラム「Meiji University Law in Japan Program」に参加し、単位修得した際の科目である。
- ⑤ 留学関係科目群は、自由選択科目の単位となる。ただし、「留学関係科目FⅠ・Ⅱ」、「Legal Studies Abroad AⅠ～EⅡ」、「Japanese Law Study in English AⅠ・Ⅱ」については、公共法務コース、ビジネスローコース、国際関係法コース、法と情報コース選択者に対してはコース専門法律科目の単位となる。
- ⑥ 留学関係科目群のうち、「Legal Studies Abroad AⅠ～EⅡ」、「Japanese Law Study in English AⅠ・Ⅱ」は履修上限単位に含まれないが、「留学関係科目AⅠ～FⅡ」は履修上限単位に含まれる。

## 9 その他

- ① 他学部履修科目は自由選択科目の単位となる。詳細は、P.11を参照すること。
- ② 大学院法学研究科設置科目は、4年在籍時に16単位まで履修できるが、学部の卒業要件に含めることはできない。詳細はP.11を参照すること。

- ③ 専門職大学院法務研究科設置科目は、3年次以上の在籍者が履修できるが、学部の卒業要件に含めることはできない。詳細はP.11～12を参照すること。
- ④ 専門職大学院会計専門職研究科設置科目は、3年次以上の在籍者が10単位まで履修できるが、学部の卒業要件に含めることはできない。詳細はP.12を参照すること。
- ⑤ グローバル人材育成プログラム科目は、自由選択科目の単位となる。詳細はP.12を参照すること。

### 3 進級要件

1年次から2年次へ進級する際に進級要件が設けられており、次の要件を満たさない場合は進級できない。

#### 【進級要件】

1年次に修得した単位において、次の2つの条件を満たしていなければ、2年次に進級できないものとする。

- 1 下記①に記載された科目の総単位数14単位のうち、7単位以上修得すること。
- 2 下記②に記載された科目の総単位数14単位のうち、6単位以上修得すること。

① 法学部生のための日本語 I・II	4単位
外国語科目 I	8単位
基礎運動実習 I・II	2単位
	計14単位

② 法律必修科目群	12単位
法律リテラシー	2単位
	計14単位

## 4 3年次早期卒業制度（2023年度現在）

大学院へ進学し、勉学を継続する人を対象として、学部を3年間で卒業する早期卒業制度を設けている。詳細は、法学部事務室に問い合わせること。

### 1 対象者

国内外の大学院（またはそれに準ずる機関）（以下、「大学院」という）への進学希望者。ただし、編入学生は対象外とする。

### 2 申請資格

- ① 2年次修了時に、卒業に必要な単位数（128単位以上）のうち86単位以上を修得していること。
- ② 2年次修了時において、「S」または「A」の評価である科目の修得単位数が、履修登録をした科目のうち卒業に必要な単位数に算入される科目の総単位数（「F」「T」を含む。）の80%以上であること。または、GPAが3.10以上であること。
- ③ 大学院への進学を目的としていること。

### 3 申請方法

3年次の履修登録時に、「3年次早期卒業願」を法学部事務室に提出すること。

### 4 審査内容

早期卒業をできる者は、申請者の内、次の各号のすべてに該当する者とする。

- ① 3年次修了時に、卒業に必要な単位数（128単位以上）を修得していること。
- ② 3年次修了時において、次のアからウのいずれかの要件を満たしていること。
  - ア 「S」または「A」の評価である科目の総単位数が、履修登録をした科目のうち卒業に必要な単位数に算入される科目の総単位数（「F」「T」を含む。）の80%以上であること。
  - イ GPAが3.00以上であること。
  - ウ 履修登録した「コース科目群科目」において、「S」または「A」の評価である科目の総単位数が、「コース科目群科目」として卒業に必要な単位数に算入される科目の総単位数（「F」「T」を含む。）の90%以上であること。
- ③ 3年次修了時に大学院入学試験に合格していること。

### 5 必修科目における特別措置

4年次配当の必修科目「専門演習BⅠ」および「専門演習BⅡ」については、教授会が認めた卒業に必要な科目（コース科目群）の単位習得をもって読み替えることとする。そのため、コース科目群については、卒業に必要な単位数に加え、4単位を多く修得すること。

### 6 その他

早期卒業判定確定後から卒業日前日までに、大学院への入学を辞退した場合は、早期卒業を取り消すことがある。

2024 年度

法学部新入生  
履修案内

## Ⅱ WEB履修登録要領



## Ⅱ WEB履修登録要領

シラバス、時間割をもとに履修計画を立て、「2024年度履修計画表」(P.57)を作成し、科目の登録作業を行うこと(計画表の提出は不要)。

### 1 履修登録スケジュール

#### WEB履修登録受付期間

- ✓ 4月16日(火) 13:00 ~ 4月18日(木) 9:30 (時間厳守)
- ✓ メンテナンスのため、システムが停止する時間帯がある。  
スケジュールはWEB履修のTOP画面で確認できる。
- ✓ クラス指定科目は予め登録されている(P.10参照)。

日	月	火	水	木	金	土
	4/1	2	3	4 ★クラス指定 科目確認	5	6
7	8	9	10 ★授業開始	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20 ★個人別時間割表 公開(10:00)
21	22	23	24	25 ★個人別時間割表 公開(9:00)	26	27
28	29	30				

WEB履修登録期間  
16日13:00~18日9:30

履修修正期間  
23日13:00~  
24日15:00

## 2 「WEB履修登録システム」 操作手順

※手元に、学生証、パスワード（入学手続き時に申請したもの）を準備し、履修計画を立てたうえで、「WEB履修登録システム」の登録を始めること。

※一度登録した後も、登録期間中であれば、何度でも修正することができる。

※履修登録期間最終日は混雑が予想され、サーバーに負荷がかかり登録に時間がかかる恐れがある。時間に余裕をもって履修登録すること。

※MacOSのパソコンやスマートフォンでは正しく動作しないことがあるので、履修登録では使用しないこと。また、WEB履修登録システムを複数の画面で開いた場合にも正常に動作しないことがあるので注意すること。

動作保証対象：[OS] Windows 8/8.1/10/11

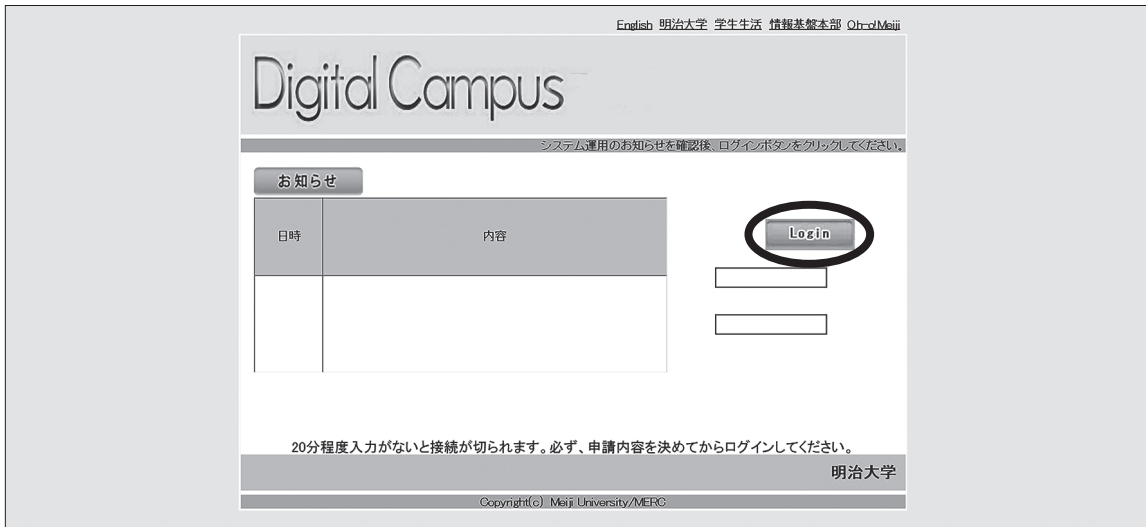
[ブラウザ] Microsoft Edge, Internet Explorer10.0以上

### 1 「WEB履修登録システム」へのアクセス

- (1) 「Oh-o! Meiji システム」 (<https://oh-o2.meiji.ac.jp/portal/index>) ログイン画面の「関連サイトリンク」から「WEB履修登録システム」をクリックする。



- (2) 「WEB履修登録システム」ページが表示される。システム運用停止等のお知らせがあるので必ず読むこと。その後、「共通認証システム」の「ID (学生番号)」、「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックする。なお、20分程度入力がないと接続が切られるので、必ず申請内容を決めてからログインすること。



#### 《パスワードについて》

- ・パスワードは、入学手続き時に自身で登録した、8桁以上16桁以内の英数字。  
(入学後に自身で「共通認証システム」の「パスワード」を変更した場合は、変更後の「パスワード」を入力すること)
- ・パスワードが正しくないとログインできない。事前にパスワードを確認しておくこと。

#### 《ID、パスワードの入力方法》

- ・英字は、大文字・小文字が区別されるので、注意すること。
- ・数字は、すべて半角で入力すること。

◆パスワードを忘れた場合は、学生証を持参のうえ、法学部事務室にて再交付申請を行うこと◆

## 2 履修する科目を登録する

- (1) ログインすると「履修申請TOP」ページが表示される。

事務室等からのお知らせがあるので、必ず読むこと。その後、画面左側メニュー項目の「履修登録」をチェックする。



(2) 「履修申請画面」が表示される。

春学期の全科目と秋学期の全科目の両方を、それぞれ登録すること。

※事前抽選等で履修が決定した科目は、当該曜日・時限（モジュール）のマスに表示される。

なお、この「事前登録科目」を履修取り消しすることはできない。

i 開講期と開講地区を選択

□Aで「春学期」を選択し、1・2年生は「和泉キャンパス」、3・4年生は「駿河台キャンパス」を選択する。

※3・4年生が再履修等で和泉キャンパス開設科目を履修する場合は、春学期分の駿河台キャンパス開設科目を登録した後に「和泉キャンパス」を選択し、登録すること。

ii 履修登録する科目を選択

曜日・時限ごとに登録する。

□Bで「学部」・「曜日」・「時限」をそれぞれ選択する。

□Cに該当する科目が表示されるので、その中から登録する科目を選択する。

□Dの該当曜日・時限マスに選択した科目が表示される。

※時限設定の場合、aモジュール、bモジュールに同様の内容が表示される。

例) 「法」にチェック→「月」にチェック→「1限」にチェック

→□Cに法学部の月曜・1限に開講されている科目が一覧で表示される

→表示された中から、履修したい科目を選択（ここに表示されない科目は履修できない）

→□Dに選択した科目が表示される

iii 登録科目を確定

春学期に履修する全科目を選択後に、□Eの「申込み」ボタンを押して登録を確定する。

ボタンを押さないと、登録は確定しないので注意すること。

春学期科目の登録を確定した後、(1)に戻り、□Aで「秋学期」を選択し、秋学期科目の登録を行う。



### 《注意事項》

#### ◆春学期集中・秋学期集中科目の登録について

春学期・秋学期集中科目は、Ⅰ→Ⅱの順に登録すること。

#### ◆夏期または冬期集中講義の登録について

「曜日」欄の「集」をチェックし、科目を選択すること。

#### ◆選択エラーについて

すでに単位修得している科目、前提条件等の履修条件を満たしていない科目を選択すると、**G**にエラーメッセージが表示され、登録できない。エラー内容に心当たりがない場合は、法学部事務室に申し出ること。

#### ◆「申込み」ボタンの実行について

科目を選択しただけで、「申込み」ボタンを押さずに終了してしまうと、履修登録が完了せずに履修未登録状態になってしまうので、必ず「申込み」ボタンを押し、登録を確定させること。

#### ◆秋学期科目の登録について

例年、春学期の履修科目のみ登録を行い、秋学期の履修科目の登録をし忘れる学生が多数いる。春学期履修科目の「申込み」ボタンを実行してから、必ず秋学期科目の登録も忘れずに行うこと。

### 3 登録科目を確認

- (1) 春学期・秋学期の履修科目を**E**の「申込み」ボタンで確定した後、画面右上の**F**の「戻る」ボタンをクリックする。



- (2) 「履修申請TOP」ページに戻るので、左側メニュー項目の「履修登録確認」をチェックする。  
(3) 「履修登録確認」ページが表示される。

申請した内容を確認する。希望どおりの表示であれば申請は完了。なお、プリンタが接続されている場合には、「印刷」ボタンをクリックすると登録内容を印刷することができる。

警告・備考	期別	曜日	時限	対時限	開講学部	授業科目名	単位数	教員氏名	教室名
	春学期	月曜	1限		法	歴史学Ⅰ	2	長沼 秀明	513番教室
	秋学期	月曜	1限		法	生命と人間Ⅱ	2	浅賀 宏昭	4番教室

### 《「警告・備考」欄について》

#### 【抽選結果】

当選の場合 ⇒ 「抽選確定」または「事前登録」

落選の場合 ⇒ 「抽選もれ」

#### 【事前登録科目】

クラス指定科目、専門演習A/BⅠ・Ⅱ ⇒ 「事前登録」

《登録したはずの授業が表示されない場合》

科目選択後、**E**の「申込み」ボタンを押していないことが考えられる。再度、開講期・キャンパス等を選択して登録し直すこと。

#### 4 登録申請の取り消し

- (1) 「履修登録画面」ページで、取消希望の授業について、学部・曜日・時限を指定して一覧を出す。
- (2) 右下の枠から「0000aモジュールのみ取り消し」または「0000bモジュールのみ取り消し」を選択する。

##### 【操作方法】

aモジュールのみ取り消し ⇒ aモジュールで登録された科目を削除

bモジュールのみ取り消し ⇒ bモジュールで登録された科目を削除

ただし、a、bが同じ時限の科目であれば、a、bのどちらの取り消しボタンを押しても、aとbに表示された科目が削除される。

##### 【操作例】

- ① 月曜1限で登録した科目  
→月曜1限aモジュールまたはbモジュールで取り消しが可能
- ② 月曜1限bモジュール、水曜6限aモジュールの連続授業の場合  
→月曜1限bモジュール取り消しでも水曜6限aモジュール取り消しでも削除可
- (3) 時間割表から該当の授業が削除されていることを確認して、**E**の「申込み」ボタンをクリックする。
- (4) 「履修登録確認」ページで希望の授業が削除されていることを確認して、申請の取り消しが完了となる。

6	a						
	b						
7	Nm						

学部(共通教育)、曜日、時限を選択後、科目名を選択してください ★登録・変更後は「申込み」ボタンを押してください！

<input checked="" type="radio"/> 法 <input type="radio"/> 商 <input type="radio"/> 政経 <input type="radio"/> 文 <input type="radio"/> 理工 <input type="radio"/> 農 <input type="radio"/> 経営 <input type="radio"/> 情コミ <input type="radio"/> 国際 <input type="radio"/> 総合数理 <input type="radio"/> 共通外国語 <input type="radio"/> 資格課程 <input type="radio"/> 国際連携 <input type="radio"/> 国際協力	<input checked="" type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 火 <input type="radio"/> 水 <input type="radio"/> 木 <input type="radio"/> 金 <input type="radio"/> 土 <input type="radio"/> 集 <input type="radio"/> 不定	<input type="radio"/> Mm <input checked="" type="radio"/> 1限 <input type="radio"/> 2限 <input type="radio"/> Lm <input type="radio"/> 3限 <input type="radio"/> 4限 <input type="radio"/> 5限 <input type="radio"/> 6限 <input type="radio"/> 7限・Nm	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;">           0000aモジュールのみ取り消し            0000bモジュールのみ取り消し         </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; width: 100%; height: 100%; margin-top: 10px;"></div>
--	--	--	--

↓集中講義(マウスでクリックすると削除可能)

↓曜日時限重複可能科目(クリックで削除可能)

#### 5 申請科目の変更

前項4(2)の取り消しを行ってから、新たに登録したい科目を選択し、**E**の「申込み」ボタンを押して確定すること。

また、変更後は、必ず「履修登録確認」ページにおいて申請内容を確認すること。

2024 年度

法学部新入生  
履修案内

## Ⅲ 試験・成績



# Ⅲ 試験・成績

## 1 試験及びレポート提出について

① 次の「受験にあたっての注意事項」を熟読の上、定期試験に臨むこと。

### 【受験にあたっての注意事項】

- 1 試験の時間割は、通常の授業時間割とは異なるので、試験時間割表に従って受験すること。
- 2 履修登録を行っていない科目の試験を受けてもその単位は認められないため、科目および担当者には十分に注意して受験すること。
- 3 試験重複科目がある者は所定の期間に法学部事務室に申し出て所定の用紙を提出すること（特に他学部履修科目との重複に注意すること）。
- 4 試験当日は、交通機関の乱れが発生することも想定して、十分に余裕を持って試験場に向かい、定刻前に指定された試験教室に入ること。
- 5 試験教室では1名おきに着席すること。
- 6 受験の際は、試験終了まで学生証を机上の見やすい位置に置くこと。
- 7 学生証を忘れた者は、必ず試験開始前に「仮学生証」（当日のみ有効）の発行手続きをとること。なお、発行手続きに要する時間は試験時間に考慮されない。
- 8 受験の際、机上には学生証、筆記用具および持ち込みを許可されているもののみ置き、その他の所持品は鞆の中にしまい椅子の下へ置くこと。
- 9 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等は、必ず電源を切って鞆の中にしまうこと。これらを時計として使用することも認めない。鞆の中にしまわず、身につけているような場合には、不正行為となる。
- 10 試験時間は60分である。
- 11 試験開始20分経過後の遅刻は、入室を認めない。また、試験開始後20分未満の遅刻で受験する場合でも、試験時間は延長しない。
- 12 試験開始後30分間および終了前10分間は、退室を認めない。
- 13 答案作成の際は、次の点に注意すること。
  - (1) 配付された解答用紙以外は使用しないこと。
  - (2) 解答用紙は書き損じ等があっても再配付しない。また、教室外への持ち出しも禁止する。
  - (3) 筆記用具は、原則としてペン（黒または青、万年筆・ボールペン）を使用すること。ただし、試験監督者の指示がある場合には、それに従うこと。
  - (4) 学部、学科、学年、組、番号、氏名等所定の事項を必ず記入すること。誤記入、または記入漏れのある答案は原則として無効とする。
- 14 受験した科目の答案は、必ず本人が提出すること。
- 15 私語を慎み、絶対不正行為をしないこと。法学部教授会が不正行為と認定した場合、学則に基づく懲戒処分を行い、また、当該学期中に履修登録した全ての科目を削除する。（2023年度現在）
- 16 六法全書（条文）の持ち込みが許可されている場合であっても、判例または注釈つきのおよび書き込み（試験当該項目以外の書き込みも含む）・メモ等の挟み込みがあるものの持ち込みは禁止する。これらの持ち込みは不正行為となる。
- 17 その他、試験教室においては、試験監督者の指示に従うこと。
- 18 病気・就職活動等の理由で受験できない場合は、所定の期間に「欠席理由を証明できるもの（診断書、治療証明書または大学指定書式等）」を提出し、特別試験の申請手続きをとること。「欠席理由を証明できるもの（診断書、治療証明書または大学指定書式等）」は当該試験を受験できなかったことが明確であるもの（日時等の記載があるもの）に限る。

法学部教授会がこれを審議し、正当な理由があると認められた科目のみ、特別試験を受験することができる。

以上

- ② レポート提出において、提出先が法学部事務室前設置の「レポート回収BOX」または法学部事務室窓口の場合、必ず法学部指定のレポート表紙を使用すること（法学部ホームページよりダウンロードまたは法学部事務室で配布）。
- ③ 事務室での筆記用具その他文房具の貸し出しは行わない。レポート提出に必要な文房具は各自準備すること。  
※レポートを作成・提出する際は、必ずP.35～36「レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意」を熟読すること。

## 2 成績について

### 1 成績評価基準について

#### ① GPA 制度

学業成績の指標として、GPA（Grade Point Average）制度を採用している。この制度では、S・A・B・C・F・Tの成績評価に対し、4・3・2・1・0・0のGP（グレード・ポイント）が与えられる。GPAは、履修した授業科目ひとつひとつの単位数に、得られた成績評価に対応する点数を掛け合わせ、それらをすべて合計し、履修登録科目の総単位数で割ることにより算出する（表1・2参照）。

なお、成績通知表には、評価は点数ではなくS・A・B・C・F・Tで表示され、GPAも記載される（成績証明書にはF・T評価は記載されないが、GPAには算入される）。

表1. 評価基準とGP(グレード・ポイント)

判定	評価	点数	内容（その科目の履修に必要とされた学習目標）	GP
合格	S	100～90点	非常によく達成している	4
	A	89～80点	よく達成している	3
	B	79～70点	達成している	2
	C	69～60点	目標の最低限は達成しているものの、不十分な点がある	1
不合格	F	59点以下	達成していない	0
	T	未受験	試験を欠席している等	0

表2. 算出方法

$$\frac{(\text{S科目のポイント} \times \text{単位数}) + (\text{A科目のポイント} \times \text{単位数}) + (\text{B科目} \dots)}{\text{全履修登録科目の総単位数 (全科目の合計単位数)}}$$

(算出例)

科目名	成績	GP	単位数	
心理学 I	S	4	× 2	= 8
English A I	A	3	× 1	= 3
基礎運動実習 I	B	2	× 1	= 2
民法（総則） I	C	1	× 2	= 2
刑法（総論） I	T	0	× 2	= 0
現代法入門	F	0	× 2	= 0
			10	15

GPA  $15 \div 10 = 1.50$  ※小数点第三位を四捨五入

#### ② GPA 算出対象科目

GPAは、卒業に必要な単位に含むことができる授業科目を対象にして算出する。したがって、他学部履修科目や、自由選択科目として単位振替をした学部間共通外国語科目も対象となる。法学部の自由選択科目として単位振替をしていない学部間共通外国語科目、資格課程関係科目、各大学院設置科目等、卒業要件外となる科目、また、他大学、留学先の大学等で単位を修得した認

定科目は対象とならない。

## 2 成績の公開について

- ① 春学期授業科目の成績は、秋学期授業開始前（9月上旬）に、また秋学期授業科目の成績は、次年度春学期授業開始前（3月上旬）に「Oh-o! Meiji システム」で公開する。
- ② 成績評価に関する問い合わせは、原則として、所定の期間のみ応じる。

## 3 コースの選択について

1年次の10月にコース選択を行う。事前にガイダンスを行うので必ず出席すること。詳細については、後日、Oh-o! Meiji システムのお知らせで案内する。2年次より各コース制が適用される。

- ・ コース選択は、5つのコースの中から学生の意思に基づいて行う。
- ・ 法曹コースのみ2年次終了時の成績による選抜を行う。法曹コースの選抜から漏れた学生は、1年次のコース登録時に第2希望としたコースで登録される。また、同コースには法科大学院との体系的・一貫的な教育課程を編成した「一貫教育プログラム」が置かれており、詳細はガイダンス等で説明する。
- ・ 3年次の学年始めに限り、法曹コース以外へのコース変更を一度だけ認める。

## 4 専門演習について

2年次の10～12月に専門演習の選考を実施する。募集時期・選考方法などは次のとおりを予定している。ただし、日程等が変更となる場合があるので、Oh-o! Meiji システムのお知らせや掲示等に注意すること。

- ① ガイダンス  
2年次秋学期（10月上旬）
- ② 募集時期  
2年次秋学期（10月下旬）
- ③ 選考方法  
担当者によって成績・面接・書類選考など選考方法が異なる。詳細はガイダンス時に配布する『法学部演習案内』を参照すること。
- ④ 履修登録
  - i 専門演習は、以下のとおり事前登録されている。時間割を確認する際には正しく登録されているか必ず確認すること。誤った専門演習が登録されている場合には、法学部事務室に申し出ること。  
【3年次進級時】2年次秋学期における募集で決定した担当者の演習が登録される。  
【4年次進級時】3年次秋学期に履修していた担当者の演習が引き続き登録される。
  - ii 以下に該当する場合には、履修登録期間内に法学部事務室に申し出て、所定の手続きを取ること。
    - ・ 2年次秋学期の募集で専門演習が決まらなかった場合
    - ・ 専門演習と必修科目が重複した場合
    - ・ やむを得ない事由により、担当者の変更を希望する場合

## 5 学習支援制度について

駿河台・和泉の各キャンパスにおいて「法学部学習サポート」を実施している。明治大学大学院法学研究科に在籍するTA（教育補助業務従事者）および助手が、法学部生の日々の学習をサポートする法学部独自の学習支援制度である。講義についていくのが厳しいなど、さまざまな理由から学習に困難を感じている学生に対し、各年次において必要な単位数を修得し、4年間で卒業してもらうことを基本的な目的としている。来室した学生の要望に応じて学習支援を行っているので、積極的な利用を推奨する。

## 6 その他

### ① 学生証について

学生証は、本学学生の身分を有することを証明するもので、在学中は常に携帯し、本学教職員の請求があった場合は提示すること。紛失・破損等の場合は、学生証再発行手数料2,000円を持参の上、法学部事務室で手続きすること。

### ② 通学区間証明シール（学生証の裏面）について

「学生証有効期限・通学区間」証明シールは、在学期間中有効であるが、記載内容に変更が生じる場合は、新しいシールを交付する。

★次の場合は、所属学部事務室に申し出ること。

- ・住所変更、通学区間の変更があったとき
- ・破損、汚損したとき
- ・余白がなくなったとき

★次の場合は、大学からシール更新の案内がある。

- ・進級により所属キャンパスが和泉キャンパスから駿河台キャンパスに変わるとき
- ・原級等の理由で組・番号の変更、卒業予定年月日の変更等が生じるとき

なお、他キャンパスの正課授業を履修している場合に限り、上記の通学区間証明シールのほかに通学区間証明カードを発行するので、法学部事務室で手続きすること。

### ③ 休講・補講等大学からの連絡事項について

休講・補講等大学からの連絡事項は、各キャンパス法学部掲示板やOh-o! Meijiシステムのお知らせにて連絡する。電話での問い合わせには応じていないので、各自で必ず確認すること。

### ④ 教科書販売について

教科書は、各キャンパス内の特設会場で販売する。特設会場の場所や販売期間・時間等については、各年度始めにOh-o! Meijiシステムのお知らせや掲示等で案内する。

### ⑤ 住所等の変更について

住所や電話番号をはじめとして、入学時に届け出た内容に変更が生じた場合は、速やかに所属キャンパスの法学部事務室まで届け出ること。

### ⑥ 欠席届について

長期入院あるいは体育会活動における公式試合等の理由により授業を欠席した場合の科目担当者への申し出は、学生の責任において行うものとするが、欠席の申し出を行う際の補助的資料として「欠席届」の様式を用意している。本様式は法学部事務室窓口での配付および法学部ホームページからダウンロード可能となっているので、適宜使用すること。

なお、法学部では公欠の制度はないため、授業欠席についての成績評価等への考慮は科目担当者の判断に委ねられている。

### ⑦ 各種証明書の発行について

各種証明書は、証明書自動発行機のほか、証明書学外発行サービス（専用Webサイト）によりコンビニエンスストアのマルチコピー機から発行することができる。詳細は、大学ホームページを参照すること。事務取扱時間内に証明書自動発行機が停止している場合や自動発行機対応外

の証明書の申し込み先は次のとおり。なお、発行時および申請時には学生証が必要となる。

- 1・2年生……法学部事務室（和泉キャンパス）
- 3・4年生……法学部事務室（駿河台キャンパス）

⑧ 学生旅客運賃割引証（学割）について

- i 学生旅客運賃割引証の発行は、証明書自動発行機を利用すること。
- ii 有効期間は3か月である。

⑨ 証明書自動発行機の設置場所について

- 和泉キャンパス 第一校舎1F 法学部事務室前フロア
- 駿河台キャンパス リバティタワー3F 証明書発行コーナー
- グローバルフロント1F 低層階エレベーター後方

⑩ 証明書種別（自動発行機対応）

証明書種別（自動発行機対応）			
1	在学証明書	7	卒業見込証明書
2	英文在学証明書	8	英文卒業見込証明書
3	単位修得・学業成績証明書 <sup>※1</sup>	9	教職免許状取得見込証明書
4	英文単位修得・学業成績証明書	10	学生割引証明書（学割証） <sup>※2</sup>
5	単位修得見込証明書	11	健康診断証明書 <sup>※3</sup>
6	英文単位修得見込証明書		

※1 前年度の成績が反映された証明書は、4月上旬から発行開始予定。

※2 学割証は、証明書学外発行サービスでは発行できない。

※3 詳細は学生支援事務室で確認すること。

\*自動発行機未対応の証明書については、法学部事務室に相談すること。



# レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意

昨今、授業の課題として課せられるレポートや論文を作成する際に、他人の文章（書籍・論文・Webページ）を、そのまま無断で借用したり、他の学生が作成した文章をあたかも自分の文章であるかのごとくみせかけたりする剽窃（ひょうせつ）（盗用）行為が目立つとの指摘が多くの教員から寄せられている。

本学として、このような行為は看過できないため、レポートや論文を作成する際は、以下の点に十分注意すること。

## 1 剽窃（盗用）行為は社会的に許されない行為

剽窃行為は、他人の学問的業績を無断で借用するものであり、学問のルールに反している。また、剽窃行為により他人の著作権や著作者人格権を侵害した場合、刑事罰を受ける、または民事上の責任を負う可能性もある。前後関係や語句を若干変更した場合であっても、適切な出典を表示することなく不必要に長文を借用している場合には、剽窃行為とみなされる可能性がある。

仮に著作権等の侵害とならない場合や、剽窃元の文章の作成者から同意を得ていた場合でも、他人の文章をあたかも自分が作成したかのごとくみせかけて、レポート・論文を作成することは、成績評価等との関係では不正行為にあたる。

また、レポートの共同作成は剽窃行為とみなされる可能性がある。

## 2 剽窃（盗用）行為と引用について

論文・レポートを執筆する際に、他人の文章の記述内容を参考とすることは当然必要である。当該文章を参照する必要がある場合には、適切な出典表示等を付して、相当な範囲内で引用することは問題ない（著作権法32条も参照）。しかし、参考にした文章の全部又は一部を、出典の表示等を付さず、不必要にそのまま借用する行為は（前後関係や語句を若干変更した場合でも）、剽窃行為とみなされる可能性がある。

文章の引用にあたっては、特に以下の点に留意すること。

- 出典の表示方法に関しては、法律編集者懇話会編「法律文献等の出典の表示方法」(<http://www.houkyouikushien.or.jp/katsudo/pdf/houritubunken2014a.pdf>)を参照すること。
- 引用時には、当該引用した部分において注等を用いて出典を示すこと。  
レポート・論文の最後に「○○参照」などと簡単に触れるにとどめた場合には、法律学の領域では、一般に不適切な引用として扱われる。
- 出典を示した場合にも、不必要に長文をそのまま借用した場合には、不適切な引用となる。

## 3 剽窃（盗用）行為は処分の対象

レポートや論文の場合、剽窃あるいは剽窃を助ける行為が明らかであれば、これを不正行為と認定し、学則に基づく懲戒処分の対象とすることがある。

当該科目の成績評価の後に剽窃の事実が判明した場合も、遡及的に、不正行為と認定することがある。

#### 4 剽窃（盗用）行為を行わないために

皆さんは、自分が剽窃行為等行うはずがない、と思うかもしれない。大学も、意図的に剽窃行為を行う学生はほとんどいないと信じているが、実際には剽窃行為が判明している。剽窃行為が行われる場合は、レポート・論文の締切が迫り、心理的に絶対に提出しなければならないと焦り、つい剽窃行為をしてしまう場合が少なくない。そのような事態を避けるために、以下のことを心掛けること。

- ・レポート等の準備には、時間的な余裕を持って臨むこと。
- ・レポートの書き方が分からない場合には、担当教員等に事前に相談すること。参考文献の引用方法が適切かどうかについて自信がない場合にも、提出締切前に余裕をもって教員に質問すること。
- ・レポートの作成が間に合わない場合でも、絶対に剽窃行為を行わないこと。レポートを提出しなければ悪くとも当該科目の単位を取得できないだけだが、剽窃行為が判明すれば不正行為と同様の処分を受けることとなる。

明らかな剽窃とまでは言えず、また本人に剽窃の意図がない場合であっても、不適切な引用のレポートが多数提出されている現状にある。

適切な出典の表示、引用の範囲については、先行する学術論文、書籍等の記載における、出典の表示方法をぜひ参考にすること。

最後に繰り返しとなるが、剽窃行為は絶対に行わないこと。

2024 年度

法学部新入生  
履修案内

## IV 授 業 科 目



# 1 授業科目一覧（2024年度入学者）

必修科目は、必ず指定された学年（配当年次）に履修すること。その他の科目についても原則として配当された年次で履修することが望ましい。配当年次が複数年次にまたがって表記されている科目については、最下級年次に履修することが望ましい。

なお、自分の学年より下級年次配当科目は履修できるが、上級年次配当科目は履修できない。

## 1 基礎科目群（◎は必修科目）

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
基礎 科目 群	1	◎法 律 リ テ ラ シ ー	半期2	メディア授業科目
	1	◎法学部生のための日本語Ⅰ（リテラシー） ◎法学部生のための日本語Ⅱ（精読）	半期各2	

## 2 教養科目群（選択科目）

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考	
教養科目群	人間と科学	1・2	記 号 論 理 学	半期2	
		1・2	心 理 学 I 心 理 学 II	半期各2	
		1・2	法 と 心 理	半期2	
		1・2	法 と 言 語 I 法 と 言 語 II	半期各2	
		3・4	マ イ ノ リ テ ィ の 人 間 学	半期2	
		1・2	ス ポ ー ツ と 社 会 A ス ポ ー ツ と 社 会 B	半期各2	
		3・4	ス ポ ー ツ と メ デ ィ ア	半期2	
		1・2	身 体 活 動 と 健 康 A 身 体 活 動 と 健 康 B	半期各2	
		1・2	身 体 と 環 境 A 身 体 と 環 境 B	半期各2	本年度開講せず
		1・2	物 質 と 宇 宙 I 物 質 と 宇 宙 II	半期各2	本年度開講せず
		3・4	科 学 技 術 と 社 会	半期2	本年度開講せず
		1・2	生 命 と 人 間 I 生 命 と 人 間 II	半期各2	
		1・2	数 理 と 社 会 I 数 理 と 社 会 II	半期各2	
		1・2	情 報 と 思 考 I 情 報 と 思 考 II	半期各2	
		1・2	エ ネ ル ギ ー と 環 境 I エ ネ ル ギ ー と 環 境 II	半期各2	本年度開講せず
		3・4	エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 政 策	半期2	本年度開講せず
		1・2	科 学 と 技 術 I 科 学 と 技 術 II	半期各2	本年度開講せず

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考	
教養科目群	社会と思想	1・2	美術の歴史	半期2	
		1・2	哲学 I 哲学 II	半期各2	
		3・4	現代哲学	半期2	
		1・2	倫理学 I 倫理学 II	半期各2	
		1・2	倫理学基礎論	半期2	本年度開講せず
		1・2	政治社会学 I 政治社会学 II	半期各2	本年度開講せず
		1・2	経済学 I 経済学 II	半期各2	
		1・2	歴史学 (西洋史)	半期2	
		1・2	歴史学 (東洋史)	半期2	本年度開講せず
		1・2	ヨーロッパ近現代史概説	半期2	
		1・2	アジアの社会と歴史 I アジアの社会と歴史 II	半期各2	
		1・2	社会思想史 I 社会思想史 II	半期各2	
		3・4	社会思想史 III 社会思想史 IV	半期各2	
		1・2	現代世界と社会思想 I 現代世界と社会思想 II	半期各2	
	3・4	メディア文化論 I メディア文化論 II	半期各2		
	1・2	映像リテラシー I 映像リテラシー II	半期各2		
	3・4	映画論 A 映画論 B	半期各2		
	地域と文化	1・2	ドイツ語圏の文化 I ドイツ語圏の文化 II	半期各2	
		3・4	ドイツ語圏の文化 III ドイツ語圏の文化 IV	半期各2	
		1・2	フランス語圏の文化 I フランス語圏の文化 II	半期各2	
		3・4	ヨーロッパ文化 I ヨーロッパ文化 II	半期各2	本年度開講せず
		1・2	イギリス文化	半期2	
		3・4	アメリカ文化 I アメリカ文化 II	半期各2	
		3・4	英語圏の文化	半期2	
		3・4	スペイン文化 I スペイン文化 II	半期各2	本年度開講せず
		3・4	ラテンアメリカ文化 I ラテンアメリカ文化 II	半期各2	

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
教養科目群	地域と文化	1・2 スペイン語圏の文化 I スペイン語圏の文化 I	半期各2	スペイン語圏の文化 I 本年度開講せず
		3・4 アフリカ文化	半期2	
		1・2 アジア文化 I アジア文化 II	半期各2	
		3・4 アジア文化 III アジア文化 IV	半期各2	メディア授業科目併設
		1・2 イスラーム文化 I イスラーム文化 II	半期各2	
		3・4 イスラーム文化 III イスラーム文化 IV	半期各2	
		1・2 日本文化 A I 日本文化 A II	半期各2	
		1・2 日本文化 B I 日本文化 B II	半期各2	
		1・2 日本文化 C I 日本文化 C II	半期各2	
		1・2 日本文化 D I 日本文化 D II	半期各2	本年度開講せず
		3・4 比較文化 A I 比較文化 A II	半期各2	
		3・4 比較文化 B I 比較文化 B II	半期各2	メディア授業科目
		1・2 異文化理解 I 異文化理解 II	半期各2	
	共通	1・2	テーマ講座	半期2

### 3 外国語科目群 (○印は選択必修科目、外国語科目Ⅱは選択科目、外国語科目Ⅲは自由選択科目)

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
外国語科目群	外国語科目Ⅰ	1 ○E n g l i s h A I ○E n g l i s h A II	半期各1	
		1 ○E n g l i s h B I ○E n g l i s h B II	半期各1	
		1 ○初級ドイツ語 A I ○初級ドイツ語 A II	半期各1	
		1 初級ドイツ語 B I 初級ドイツ語 B II	半期各1	
		1 初級ドイツ語実践 I 初級ドイツ語実践 II	半期各1	本年度開講せず
		1 ○特別ドイツ語 A I ○特別ドイツ語 A II ○特別ドイツ語 B I ○特別ドイツ語 B II	半期各1	入学試験時に、ドイツ語で受験した学生用に開設。ただし、ドイツ語で受験しなかった学生でも、能力次第でこれらの科目を履修することができる。
		1 ○初級フランス語 A I ○初級フランス語 A II	半期各1	
		1 初級フランス語 B I 初級フランス語 B II	半期各1	
		1 初級フランス語実践 I 初級フランス語実践 II	半期各1	本年度開講せず

(○印は選択必修科目、外国語科目Ⅱは選択科目)

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
外国語科目Ⅰ	1	○特別 フランス語 A I ○特別 フランス語 A II ○特別 フランス語 B I ○特別 フランス語 B II	半期各1	入学試験時に、フランス語で受験した学生用に開設。ただし、フランス語で受験しなかった学生でも、能力次第でこれらの科目を履修することができる。
	1	○初級 中国語 A I ○初級 中国語 A II	半期各1	
	1	○初級 中国語 B I ○初級 中国語 B II	半期各1	
	1	○初級 スペイン語 A I ○初級 スペイン語 A II	半期各1	
	1	○初級 スペイン語 B I ○初級 スペイン語 B II	半期各1	
	1	○初級 ロシア語 A I ○初級 ロシア語 A II	半期各1	
	1	○初級 ロシア語 B I ○初級 ロシア語 B II	半期各1	
	1	○日 本 語 A I ○日 本 語 A II	半期各1	外国人留学生科目
	1	○日 本 語 B I ○日 本 語 B II	半期各1	
外国語科目Ⅱ	2	E n g l i s h C I E n g l i s h C II	半期各1	
	2	English Seminar A I English Seminar A II	半期各1	
	2	P r e s e n t a t i o n A I P r e s e n t a t i o n A II	半期各1	
	2	M e d i a E n g l i s h A I M e d i a E n g l i s h A II	半期各1	
	2	W r i t i n g A I W r i t i n g A II	半期各1	
	2	TOEIC/TOEFL講座 A I TOEIC/TOEFL講座 A II	半期各1	本年度開講せず
	2	中級 ドイツ語 A I 中級 ドイツ語 A II	半期各1	
	2	中級 ドイツ語 B I 中級 ドイツ語 B II	半期各1	
	2	中級 ドイツ語 実践 I 中級 ドイツ語 実践 II	半期各1	
	2	ドイツ語ゼミナール A I ドイツ語ゼミナール A II	半期各1	
	2	時事 ドイツ語 A I 時事 ドイツ語 A II	半期各1	
	2	資格 ドイツ語 A I 資格 ドイツ語 A II	半期各1	
	2	特別 ドイツ語 C I 特別 ドイツ語 C II 特別 ドイツ語 D I 特別 ドイツ語 D II	半期各1	入学試験時に、ドイツ語で受験した学生用に開設。ただし、ドイツ語で受験しなかった学生でも、能力次第でこれらの科目を履修することができる。
	2	中級 フランス語 A I 中級 フランス語 A II	半期各1	
	2	中級 フランス語 B I 中級 フランス語 B II	半期各1	
	2	中級 フランス語 実践 I 中級 フランス語 実践 II	半期各1	

(外国語科目Ⅱは選択科目、外国語科目Ⅲは自由選択科目)

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
外国語科目Ⅱ	2	フランス語ゼミナール A I フランス語ゼミナール A II	半期各1	
	2	時事 フランス語 A I 時事 フランス語 A II	半期各1	
	2	資格 フランス語 A I 資格 フランス語 A II	半期各1	
	2	特別 フランス語 C I 特別 フランス語 C II 特別 フランス語 D I 特別 フランス語 D II	半期各1	入学試験時に、フランス語で受験した学生用に開設。ただし、フランス語で受験しなかった学生でも、能力次第でこれらの科目を履修することができる。
	2	中級 中国語 A I 中級 中国語 A II	半期各1	
	2	中級 中国語 B I 中級 中国語 B II	半期各1	
	2	中級 スペイン語 A I 中級 スペイン語 A II	半期各1	
	2	中級 スペイン語 B I 中級 スペイン語 B II	半期各1	
	2	スペイン語実践 I スペイン語実践 II	半期各1	
	2	中級 ロシア語 A I 中級 ロシア語 A II	半期各1	
	2	中級 ロシア語 B I 中級 ロシア語 B II	半期各1	
	2	日本語 C I 日本語 C II	半期各1	外国人留学生科目
	2	日本語 D I 日本語 D II	半期各1	
	外国語科目Ⅲ	3・4	English Seminar B I English Seminar B II	半期各1
3・4		Presentation B I Presentation B II	半期各1	本年度開講せず
3・4		Media English B I Media English B II	半期各1	本年度開講せず
3・4		Advanced Reading I Advanced Reading II	半期各1	本年度開講せず
3・4		Writing B I Writing B II	半期各1	
3・4		ドイツ語ゼミナール B I ドイツ語ゼミナール B II	半期各1	
3・4		時事 ドイツ語 B I 時事 ドイツ語 B II	半期各1	本年度開講せず
3・4		資格 ドイツ語 B I 資格 ドイツ語 B II	半期各1	
3・4		上級 ドイツ語 I 上級 ドイツ語 II	半期各1	
3・4		上級 ドイツ語実践 I 上級 ドイツ語実践 II	半期各1	本年度開講せず
3・4		時事 フランス語 B I 時事 フランス語 B II	半期各1	
3・4		資格 フランス語 B I 資格 フランス語 B II	半期各1	本年度開講せず
3・4		上級 フランス語 I 上級 フランス語 II	半期各1	



(外国語科目Ⅲは自由選択科目)

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
外国語科目群 外国語科目Ⅲ	3・4	上級フランス語実践Ⅰ 上級フランス語実践Ⅱ	半期各1	本年度開講せず
	3・4	上級中国語AⅠ 上級中国語AⅡ	半期各1	
	3・4	上級中国語BⅠ 上級中国語BⅡ	半期各1	本年度開講せず
	3・4	上級スペイン語AⅠ 上級スペイン語AⅡ	半期各1	本年度開講せず
	3・4	上級スペイン語BⅠ 上級スペイン語BⅡ	半期各1	
	3・4	上級ロシア語AⅠ 上級ロシア語AⅡ	半期各1	本年度開講せず
	3・4	上級ロシア語BⅠ 上級ロシア語BⅡ	半期各1	本年度開講せず

4 保健体育科目群 (◎印は必修科目)

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
保健体育 科目群	1	◎基礎運動実習Ⅰ ◎基礎運動実習Ⅱ	半期各1	
	2~4	スポーツ実習	半期1	

5 法律必修科目群 (◎必修科目)

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
法律必修科目群	1	◎憲法(人権)Ⅰ ◎憲法(人権)Ⅱ	半期各2	
	2	◎憲法(統治)Ⅰ ◎憲法(統治)Ⅱ	半期各2	
	1	◎民法(総則)Ⅰ ◎民法(総則)Ⅱ	半期各2	
	2	◎民法(債権総論)Ⅰ ◎民法(債権総論)Ⅱ	半期各2	メディア授業科目併設
	1	◎刑法(総論)Ⅰ ◎刑法(総論)Ⅱ	半期各2	
	2	◎刑法(各論)Ⅰ ◎刑法(各論)Ⅱ	半期各2	

6 演習科目群 (◎印は必修科目)

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
演習科目群	1	特設演習(留学生向け)	秋2	海外地域指定校推薦入学試験 入学者(秋学期入学)用 本年度開講せず
	3	◎専門演習AⅠ ◎専門演習AⅡ	半期各2	詳細は2024年度『法学部演習案内』参照
	4	◎専門演習BⅠ ◎専門演習BⅡ	半期各2	

## 7 各コース科目群

詳細は、「2 コース科目群について (2024年度入学者)」(P.46~51) を参照のこと。

## 8 自由選択科目群

科目区分 (群)等	配当 年次	授業科目	単位数	備考
自由 選択 科目 群	3・4	社 会 政 策 I 社 会 政 策 II	半期各2	本年度開講せず
	3・4	経 済 政 策 I 経 済 政 策 II	半期各2	
	3・4	財 政 学 I 財 政 学 II	半期各2	本年度開講せず
	3・4	会 計 学 I 会 計 学 II	半期各2	
	1~4	I C T エ レ メ ン タ リ ー ※6	半期2	メディア授業科目併設
	1~4	I C T ベ ー シ ッ ク I ※6 I C T ベ ー シ ッ ク II ※6	半期各2	メディア授業科目併設
	1~4	I C T 統 計 解 析 I ※6 I C T 統 計 解 析 II ※6	半期各2	メディア授業科目併設
	1~4	I C T デ ー タ ベ ー ス I ※6 I C T デ ー タ ベ ー ス II ※6	半期各2	メディア授業科目併設
	1~4	I C T メ デ ィ ア 編 集 I ※6 I C T メ デ ィ ア 編 集 II ※6	半期各2	メディア授業科目併設
	1~4	I C T ア プ リ 開 発 I ※6 I C T ア プ リ 開 発 II ※6	半期各2	メディア授業科目併設
	1~4	I C T コ ン テ ン ツ デ ザ イン I I C T コ ン テ ン ツ デ ザ イン II	半期各2	
	1~4	I C T 総 合 実 践 I I C T 総 合 実 践 II	半期各2	
	1~4	総 合 講 座 ※6	半期2	メディア授業科目併設

※6 一部をメディア授業科目として実施。メディア授業科目については、7ページを参照すること。

## 9 留学関係科目群

科目区分 (群)等 区分	配当 年次	授業科目	単位数	備考
留学関係科目群	1~4	留学関係科目 A I 留学関係科目 A II 留学関係科目 A III	I・IIは 半期各2、 IIIは半期 または通 年各4	単位認定用科目
	1~4	留学関係科目 B I 留学関係科目 B II 留学関係科目 B III		
	1~4	留学関係科目 C I 留学関係科目 C II 留学関係科目 C III		
	1~4	留学関係科目 D I 留学関係科目 D II 留学関係科目 D III		
	1~4	留学関係科目 E I 留学関係科目 E II 留学関係科目 E III		
	1~4	留学関係科目 F I 留学関係科目 F II		
	1~4	留学基礎講座 A I 留学基礎講座 A II	半期各2	
	2~4	留学基礎講座 B I 留学基礎講座 B II	半期各2	本年度開講せず
	2~4	留学基礎講座 C I 留学基礎講座 C II	半期各2	留学基礎講座C II 本年度開講せず
	1~4	留学基礎講座 D I 留学基礎講座 D II	半期各2	本年度開講せず
	1~4	Legal Studies Abroad AI Legal Studies Abroad AII	集中各2	
	1~4	Legal Studies Abroad BI Legal Studies Abroad BII	集中各2	
	1~4	Legal Studies Abroad CI Legal Studies Abroad CII	集中各2	
	1~4	Legal Studies Abroad DI Legal Studies Abroad DII	集中各2	
	1~4	Legal Studies Abroad EI Legal Studies Abroad EII	集中各2	
	1~4	Japanese Law Study in English AI Japanese Law Study in English AII	集中各2	

## 2 コース科目群について (2024年度入学者)

以下の表は、各科目のコース別の取り扱い(区分)を示している。

必修科目は、必ず指定された学年(配当年次)に履修すること。その他の科目についても原則として配当された年次で履修することが望ましい。配当年次が複数年次にまたがって表記されている科目については、最下級年次に履修することが望ましい。

なお、自分の学年より下級年次配当科目は履修できるが、上級年次配当科目は履修できない。

配当年次	授業科目	単位数	法曹	公共法務	ビジネスロー	国際関係法	法と情報	備考
1・2	現代法入門	半期2	△1	△1	△1	△1	△1	
1~4	Introduction to Modern Law I Introduction to Modern Law II	半期各2	△2 △2	△2 △2	△2 △2	○(△1)※2 ○(△1)※2		本年度開講せず
3・4	Business Law in English I Business Law in English II	半期各2			△1 △1	○(△1)※2 ○(△1)※2		メディア授業科目併設 本年度はメディア授業科目のみ開講
2~4	民法(物権) 民法(担保物権)	半期各2	◎ ◎	△1 △1	△1 △1	△1 △1	△1 △1	
3・4	民法(契約) I 民法(契約) II	半期各2	◎ ◎	△1 △1	△1 △1	△1 △1	△1 △1	
3・4	民法(損害賠償)	半期2	◎	△1	△1	△1	△1	
2~4	民法(親族) I 民法(親族) II	半期各2	△1 △1	△1 △1	△2 △2	△1 △1	△1 △1	
3・4	民法(相続)	半期2	△1	△1	△2	△1	△1	
3・4	民法(家族法) I ※3 民法(家族法) II ※3	半期各2	△1 △1					法曹コース選択者のみ履修可
2~4	行政法 A I 行政法 A II	半期各2	△1 △1	◎ ◎	△2 △2	△1 △1	△1 △1	
2~4	行政法(総論) ※3	半期2	△1					法曹コース選択者のみ履修可
3・4	行政法 B I 行政法 B II	半期各2	△1 △1	◎ ◎	△2 △2	△1 △1	△1 △1	
3・4	行政法(救済法) ※3	半期2	△1					法曹コース選択者のみ履修可
3・4	租税法 I 租税法 II	半期各2	△2 △2	△1 △1	△2 △2	△1 △1		
3・4	地方自治・公務員法	半期2		△1			△1	
3・4	環境法 I 環境法 II	半期各2	△2 △2	△2 △2	△2 △2	△1 △1		
2~4	教育法 I 教育法 II	半期各2		△1 △1			△1 △1	
3・4	不動産法 I 不動産法 II	半期各2			△2 △2			
3・4	登記・供託法	半期2			△2			
2~4	商法概論・総則	半期2	△2	△2	△1	△1	△1	
3・4	商行為法(商取引法)	半期2	△2	△2	△1		△1	
2~4	会社法 I (法曹コース用)	半期2	◎					法曹コース選択者のみ履修可
2~4	会社法 I	半期2	◎	△1	○(△1)※1	△1	△1	
3・4	会社法 II (法曹コース用)	半期2	◎					法曹コース選択者のみ履修可
3・4	会社法 II	半期2	◎	△1	○(△1)※1	△1	△1	
3・4	会社法 III	半期2	△1		○(△1)※1			
3・4	手形・小切手法 I 手形・小切手法 II	半期各2	△2 △2	△1 △1	△1 △1		△1 △1	

※1 「会社法 I・II・III、労働法 A I・II、経済法 I・II、知的財産法 A I・II」の中から4科目8単位を選択必修とする(組合せ自由)。

※2 以下のどちらか一方の条件を満たすことで選択必修とする。

- (1) 「国際法 I・II」および「国際私法 I・II」の4科目8単位を修得すること。
- (2) 「国際法 I・II」または「国際私法 I・II」のどちらか一方の科目(2科目4単位)を修得するほか、「Introduction to Modern Law I・II、Business Law in English I・II、法律英語 I・II、法律外書講読 I・II、留学関係科目 F I・II、Legal Studies Abroad A I~E II、Japanese Law Study in English A I・II」の中から2科目4単位を修得すること(組合せ自由)。

※3 法曹コース「一貫教育プログラム」修了要件の読替科目。

コース科目の見方

記号	科目区分
◎	コース必修科目
○(△1)	コース必修科目(選択必修)
△1	コース専門法律科目
△2	コース展開・先端科目
△3	コース専門文化科目
△4	コース基礎科目
△7	グローバル・スタディーズ科目
△9	コース専門情報科目
△10	基礎法・外国法科目

配当年次	授業科目	単位数	法曹	公共法務	ビジネスロー	国際関係法	法と情報	備考
3・4	保 険 ・ 海 商 法 I 保 険 ・ 海 商 法 II	半期各2	△2 △2		△1 △1	△1 △1	△1 △1	
3・4	銀 行 取 引 法	半期2			△2			
3・4	金 融 商 品 取 引 法	半期2			△2	△1	△1	
3・4	民事訴訟法 I (法曹コース用) 民事訴訟法 II (法曹コース用)	半期各2	○(△1) ※4 ○(△1) ※4					法曹コース選択者のみ履修可
3・4	民 事 訴 訟 法 I 民 事 訴 訟 法 II	半期各2	○(△1) ※4 ○(△1) ※4	△1 △1	△1 △1	△1 △1	△1 △1	
3・4	民 事 執 行 ・ 保 全 法 I 民 事 執 行 ・ 保 全 法 II	半期各2	△2 △2		△2 △2		△1 △1	
3・4	倒 産 処 理 法 I 倒 産 処 理 法 II	半期各2	△2 △2		△2 △2			
2~4	刑事訴訟法 I (法曹コース用) 刑事訴訟法 II (法曹コース用)	半期各2	○(△1) ※4 ○(△1) ※4					法曹コース選択者のみ履修可 メディア授業科目併設
2~4	刑 事 訴 訟 法 I 刑 事 訴 訟 法 II	半期各2	○(△1) ※4 ○(△1) ※4	△1 △1	△2 △2	△1 △1	△1 △1	メディア授業科目併設
3・4	経 済 刑 法	半期2			△2		△1	
3・4	労 働 法 A I 労 働 法 A II	半期各2	△2 △2	△1 △1	○(△1) ※1 ○(△1) ※1	△1 △1	△1 △1	
3・4	労 働 法 B I 労 働 法 B II	半期各2	△2 △2	△1 △1	△1 △1			
3・4	社 会 保 障 法 I 社 会 保 障 法 II	半期各2		△1 △1	△2 △2	△1 △1	△1 △1	
2~4	国 際 法 I 国 際 法 II	半期各2	△2 △2	△2 △2	△2 △2	○(△1) ※2 ○(△1) ※2		
3・4	国 際 人 権 法	半期2	△2	△2		△7		
3・4	国 際 経 済 法 I 国 際 経 済 法 II	半期各2	△2 △2	△2 △2	△2 △2	△7 △7		
3・4	国 際 私 法 I 国 際 私 法 II	半期各2	△2 △2		△1 △1	○(△1) ※2 ○(△1) ※2		
3・4	国 際 取 引 法	半期2	△2		△2	△7	△1	
3・4	国 際 環 境 法	半期2			△2	△7		
3・4	国 際 民 事 訴 訟 法	半期2	△2		△2	△7	△1	
3・4	法 社 会 学 I 法 社 会 学 II	半期各2	△10 △10	△10 △10	△10 △10	△10 △10	△10 △10	
3・4	法 哲 学 I 法 哲 学 II	半期各2	△10 △10	△10 △10	△10 △10	△10 △10	△10 △10	
3・4	法 文 化 論 I 法 文 化 論 II	半期各2	△10 △10	△10 △10	△10 △10	△10 △10	△10 △10	本年度開講せず
3・4	法 思 想 史 (西 洋) I 法 思 想 史 (西 洋) II	半期各2	△10 △10	△10 △10	△10 △10	△10 △10	△10 △10	

※1 「会社法 I・II・III、労働法 A I・II、経済法 I・II、知的財産法 A I・II」の中から4科目8単位を選択必修とする(組合せ自由)。

※2 以下のどちらか一方の条件を満たすことで選択必修とする。

(1) 「国際法 I・II」および「国際私法 I・II」の4科目8単位を修得すること。

(2) 「国際法 I・II」または「国際私法 I・II」のどちらか一方の科目(2科目4単位)を修得するほか、「Introduction to Modern Law I・II、Business Law in English I・II、法律英語 I・II、法律外書講読 I・II、留学関係科目 F I・II、Legal Studies Abroad A I~E II、Japanese Law Study in English A I・II」の中から2科目4単位を修得すること(組合せ自由)。

※4 「民事訴訟法 I・II」または「刑事訴訟法 I・II」のどちらか一方の科目(2科目4単位)を選択必修とする。

コース科目の見方

記号	科目区分
◎	コース必修科目
○(△1)	コース必修科目(選択必修)
△1	コース専門法律科目
△2	コース展開・先端科目
△3	コース専門文化科目
△4	コース基礎科目
△7	グローバル・スタディーズ科目
△9	コース専門情報科目
△10	基礎法・外国法科目

配当年次	授業科目	単位数	法曹	公共法務	ビジネスロー	国際関係法	法と情報	備考
3・4	法思想史(日本) I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	法思想史(日本) II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	法史学(東洋) I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	法史学(東洋) II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	法史学(西洋) I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	本年度開講せず
	法史学(西洋) II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	法史学(日本) I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	法史学(日本) II		△10	△10	△10	△10	△10	
1~4	日本近代法史 I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	日本近代法史 II	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
2~4	比較法学 I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	比較法学 II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	比較憲法 I	半期各2	△2	△2		△7		
	比較憲法 II		△2	△2		△7		
3・4	アメリカ法 I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	アメリカ法 II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	イギリス法 I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	イギリス法 II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	フランス法 I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	フランス法 II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	ドイツ法 I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	ドイツ法 II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	中国法 I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	中国法 II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	EU法 I	半期各2	△10	△10	△10	△10	△10	
	EU法 II		△10	△10	△10	△10	△10	
3・4	経済法 I	半期各2	△2	△2	○(△1)※1	△1	△1	
	経済法 II		△2	△2	○(△1)※1	△1	△1	
3・4	消費者法 I	半期各2	△2		△2	△1	△1	
	消費者法 II		△2		△2	△1	△1	
3・4	知的財産法 A I	半期各2	△2	△2	○(△1)※1	△1	△1	
	知的財産法 A II		△2	△2	○(△1)※1	△1	△1	
3・4	知的財産法 B	半期2	△2	△2	△1		△1	
3・4	犯罪学 I	半期各2	△2	△2			△1	メディア授業科目
	犯罪学 II		△2	△2			△1	
3・4	犯罪者処遇法 I	半期各2	△2	△2				
	犯罪者処遇法 II		△2	△2				
3・4	少年法 I	半期各2		△2				メディア授業科目
	少年法 II			△2				
3・4	立法学	半期2		△2				
3・4	情報法 I	半期各2	△2		△2	△1	○(△1)※5	
	情報法 II		△2		△2	△1	○(△1)※5	
3・4	サイバース法 A	半期2				△1	○(△1)※5	
3・4	サイバース法 B	半期2				△1	○(△1)※5	
3・4	サイバース法 C	半期2				△1	○(△1)※5	
3・4	サイバース法 D	半期2				△1	○(△1)※5	

※1 「会社法 I・II・III、労働法 A I・II、経済法 I・II、知的財産法 A I・II」の中から4科目8単位を選択必修とする(組合せ自由)。

※5 「情報法 I・II、サイバース法 A~E、法情報学 I・II」の中から4科目8単位を選択必修とする(組合せ自由)。

コース科目の見方

記号	科目区分
◎	コース必修科目
○ (△1)	コース必修科目 (選択必修)
△1	コース専門法律科目
△2	コース展開・先端科目
△3	コース専門文化科目
△4	コース基礎科目
△7	グローバル・スタディーズ科目
△9	コース専門情報科目
△10	基礎法・外国法科目

配当年次	授業科目	単位数	法曹	公共法務	ビジネスロー	国際関係法	法と情報	備考
3・4	サイバー法 E	半期2				△1	○ (△1) ※5	
1~4	デジタルコンテンツ A	半期2					△9	メディア授業科目
1~4	デジタルコンテンツ B	半期2					△9	
1~4	情報通信技術 A	半期2					△9	メディア授業科目
1~4	情報通信技術 B	半期2					△9	メディア授業科目
1~4	法・情報・社会 A	半期2					△1	
1~4	法・情報・社会 B	半期2					△1	
1~4	情報組織論 I	半期各2					△9	
1~4	情報組織論 II	半期各2					△9	
3・4	法情報学 I	半期各2		△2	△2	△1	○ (△1) ※5	メディア授業科目
3・4	法情報学 II	半期各2		△2	△2	△1	○ (△1) ※5	
3・4	民法特講 I	半期各2	△1					
3・4	民法特講 II	半期各2	△1					
3・4	刑法特講 I	半期各2	△1					
3・4	刑法特講 II	半期各2	△1					
3・4	医事法 I	半期各2	△2				△1	
3・4	医事法 II	半期各2	△2				△1	
2~4	ジェンダーと法 I	半期各2	△2	△2	△2	△1		
2~4	ジェンダーと法 II	半期各2	△2	△2	△2	△1		
3・4	行政学 I	半期各2		△2				
3・4	行政学 II	半期各2		△2				
1・2	ドイツ語圏の文化 I	半期各2				△3		
1・2	ドイツ語圏の文化 II	半期各2				△3		
3・4	ドイツ語圏の文化 III	半期各2				△3		
3・4	ドイツ語圏の文化 IV	半期各2				△3		
1・2	フランス語圏の文化 I	半期各2				△3		
1・2	フランス語圏の文化 II	半期各2				△3		
3・4	ヨーロッパ文化 I	半期各2				△3		本年度開講せず
3・4	ヨーロッパ文化 II	半期各2				△3		
1・2	イギリス文化	半期2				△3		
3・4	アメリカ文化 I	半期各2				△3		
3・4	アメリカ文化 II	半期各2				△3		
3・4	英語圏の文化	半期2				△3		
3・4	スペイン文化 I	半期各2				△3		本年度開講せず
3・4	スペイン文化 II	半期各2				△3		
3・4	ラテンアメリカ文化 I	半期各2				△3		
3・4	ラテンアメリカ文化 II	半期各2				△3		
1・2	スペイン語圏の文化 I	半期各2				△3		スペイン語圏の文化 I 本年度開講せず
1・2	スペイン語圏の文化 II	半期各2				△3		
3・4	アフリカ文化	半期2				△3		
1・2	アジア文化 I	半期各2				△3		
1・2	アジア文化 II	半期各2				△3		
3・4	アジア文化 III	半期各2				△3		メディア授業科目併設
3・4	アジア文化 IV	半期各2				△3		
1・2	イスラーム文化 I	半期各2				△3		
1・2	イスラーム文化 II	半期各2				△3		
3・4	イスラーム文化 III	半期各2				△3		
3・4	イスラーム文化 IV	半期各2				△3		

※5 「情報法 I・II、サイバー法 A~E、法情報学 I・II」の中から4科目8単位を選択必修とする (組合せ自由)。

コース科目の見方

記号	科目区分
◎	コース必修科目
○(△1)	コース必修科目(選択必修)
△1	コース専門法律科目
△2	コース展開・先端科目
△3	コース専門文化科目
△4	コース基礎科目
△7	グローバル・スタディーズ科目
△9	コース専門情報科目
△10	基礎法・外国法科目

配当年次	授業科目	単位数	法曹	公共法務	ビジネスロー	国際関係法	法と情報	備考	
1・2	日本文文化 A I 日本文文化 A II	半期各2				△3 △3			
1・2	日本文文化 B I 日本文文化 B II	半期各2				△3 △3			
1・2	日本文文化 C I 日本文文化 C II	半期各2				△3 △3			
1・2	日本文文化 D I 日本文文化 D II	半期各2				△3 △3		本年度開講せず	
3・4	比較文化 A I 比較文化 A II	半期各2				△3 △3			
3・4	比較文化 B I 比較文化 B II	半期各2				△3 △3		メディア授業科目	
1・2	異文化理解 I 異文化理解 II	半期各2				△3 △3			
3・4	国際関係論 I 国際関係論 II	半期各2				△7 △7		本年度開講せず	
3・4	国際政治史 I 国際政治史 II	半期各2				△7 △7		本年度開講せず	
3・4	外交史 I 外交史 II	半期各2				△7 △7			
2~4	司法演習 I (法曹コースクラス) 司法演習 II (法曹コースクラス)	半期各2	△1 △1					法曹コース選択者のみ履修可	
2~4	司法演習 I (一般クラス) 司法演習 II (一般クラス)	半期各2		△1 △1	△1 △1	△1 △1	△1 △1	法曹コース以外の者は履修可	
2	法律英語 I 法律英語 II	半期各2		△1 △1	△1 △1	○(△1)※2 ○(△1)※2	△1 △1		
3・4	法律外書講読 I 法律外書講読 II	半期各2		△1 △1	△1 △1	○(△1)※2 ○(△1)※2	△1 △1		
1~4	I C T エレメンタリー	半期2					△9	詳細は2024年度 『情報関係科目シラバス』 (WEB公開)参照 一部の科目は メディア授業科目併設	
1~4	I C T ベーシック I I C T ベーシック II	半期各2					△9 △9		
1~4	I C T 統計解析 I I C T 統計解析 II	半期各2					△9 △9		
1~4	I C T データベース I I C T データベース II	半期各2					△9 △9		
1~4	I C T メディア編集 I I C T メディア編集 II	半期各2					△9 △9		
1~4	I C T アプリ開発 I I C T アプリ開発 II	半期各2					△9 △9		
1~4	I C T コンテンツデザイン I I C T コンテンツデザイン II	半期各2					△9 △9		
1~4	I C T 総合実践 I I C T 総合実践 II	半期各2					△9 △9		
1~4	留学関係科目 F I 留学関係科目 F II	各2		△1 △1	△1 △1	○(△1)※2 ○(△1)※2	△1 △1		単位認定用科目

※2 以下のどちらか一方の条件を満たすことで選択必修とする。

- (1) 「国際法 I・II」および「国際私法 I・II」の4科目8単位を修得すること。
- (2) 「国際法 I・II」または「国際私法 I・II」のどちらか一方の科目(2科目4単位)を修得するほか、「Introduction to Modern Law I・II、Business Law in English I・II、法律英語 I・II、法律外書講読 I・II、留学関係科目 F I・II、Legal Studies Abroad A I~E II、Japanese Law Study in English A I・II」の中から2科目4単位を修得すること(組合せ自由)。



コース科目の見方

記号	科目区分
◎	コース必修科目
○ (△1)	コース必修科目 (選択必修)
△1	コース専門法律科目
△2	コース展開・先端科目
△3	コース専門文化科目
△4	コース基礎科目
△7	グローバル・スタディーズ科目
△9	コース専門情報科目
△10	基礎法・外国法科目

配当年次	授業科目	単位数	法曹	公共法務	ビジネスロー	国際関係法	法と情報	備考
1~4	Legal Studies Abroad A I Legal Studies Abroad A II	各2		△1 △1	△1 △1	○ (△1) ※2 ○ (△1) ※2	△1 △1	
1~4	Legal Studies Abroad B I Legal Studies Abroad B II	各2		△1 △1	△1 △1	○ (△1) ※2 ○ (△1) ※2	△1 △1	
1~4	Legal Studies Abroad C I Legal Studies Abroad C II	各2		△1 △1	△1 △1	○ (△1) ※2 ○ (△1) ※2	△1 △1	
1~4	Legal Studies Abroad D I Legal Studies Abroad D II	各2		△1 △1	△1 △1	○ (△1) ※2 ○ (△1) ※2	△1 △1	
1~4	Legal Studies Abroad E I Legal Studies Abroad E II	各2		△1 △1	△1 △1	○ (△1) ※2 ○ (△1) ※2	△1 △1	
1~4	Japanese Law Study in English A I Japanese Law Study in English A II	各2		△1 △1	△1 △1	○ (△1) ※2 ○ (△1) ※2	△1 △1	

※2 以下のどちらか一方の条件を満たすことで選択必修とする。

- (1) 「国際法 I・II」および「国際私法 I・II」の4科目8単位を修得すること。
- (2) 「国際法 I・II」または「国際私法 I・II」のどちらか一方の科目 (2科目4単位) を修得するほか、「Introduction to Modern Law I・II、Business Law in English I・II、法律英語 I・II、法律外書講読 I・II、留学関係科目 F I・II、Legal Studies Abroad A I~E II、Japanese Law Study in English A I・II」の中から2科目4単位を修得すること (組合せ自由)。

### 3 外国語（英語）で授業を行う科目一覧

法学部では、下記の科目について英語で授業を実施している。いずれの科目も、卒業要件単位として認められる。各授業の詳細は、大学ホームページ「全学共通国際系プログラム（グローバル・ナビ科目）」を参照すること。

#### 和泉キャンパス開講科目

授業科目	配当年次	開講期	単位数	担当者名
Introduction to Modern Law I・II（本年度未開講）	1～4	春学期・秋学期	各2	小室 輝久
留学基礎講座A I・II	1～4	春学期・秋学期	各2	グリフィス, ディビット H.

#### 駿河台キャンパス開講科目

授業科目	配当年次	開講期	単位数	担当者名
Business Law in English I・II	3・4	秋学期	各2	プレヴォ, エメリック
比較法学 I・II	2～4	春学期・秋学期	各2	メンクハウス

#### List of Courses taught in English

The School of Law offers several courses taught in English. All credits obtained from these courses will be counted as credits necessary for graduation requirements.

Please refer to the syllabi for details of each course.

#### Course in Izumi Campus

Course	Years	Term	Credits	Instructor
Introduction to Modern Law I・II (Not offered this year)	1～4	Spring/Fall	2/2	Komuro, Teruhisa
Academic Skills for Study Abroad A I・II	1～4	Spring/Fall	2/2	Griffiths, David H.

#### Course in Surugadai Campus

Course	Years	Term	Credits	Instructor
Business Law in English I・II	3・4	Fall	2/2	Prevost, Emeric
Comparative Law I・II	2～4	Spring/Fall	2/2	Menkhaus, Heinrich Johannes

2024 年度

法学部新入生  
履修案内

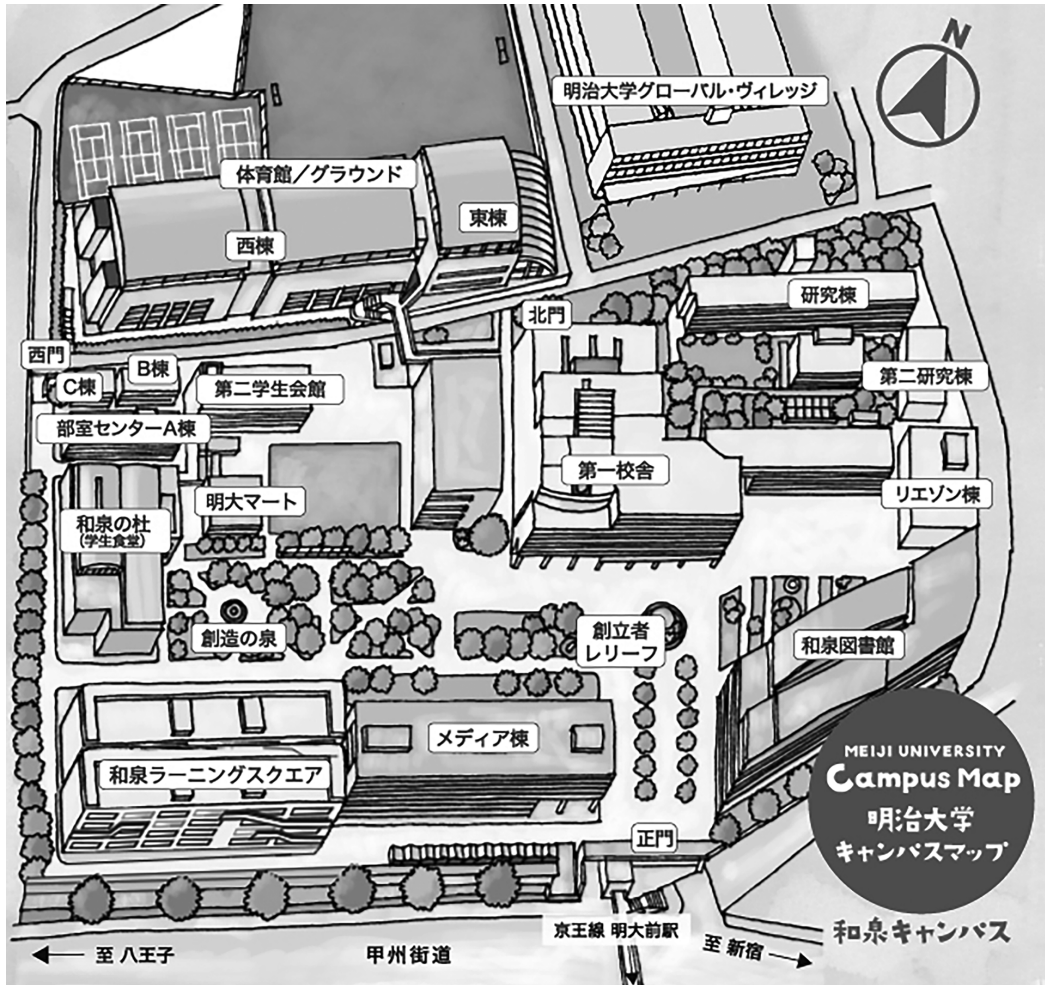
V そ の 他



# 1 2024年度 法学部クラス主任

組	1年	2年	3年	4年
1	シェアマン, スザンネ	シェアマン, スザンネ	林 幸司	村上 一博
2	伊藤 真弓	伊藤 真弓	下川 環	南保 勝美
3	小財 陽平	佐藤 公紀	川地 宏行	小西 康之
4	佐藤 公紀	ダン, ジェームス D.	メンクハウス, ハイน์リッヒ	小林 宏之
5	渡辺 響子	越門 勝彦	佐々木秀智	小西 啓文
6	斎藤 英治	釜崎 太	吉井 啓子	鈴木 賢
7	中村 和恵	渡辺 響子	柿崎 環	根本 伸一
8	岩野 卓司	岩野 卓司	内田 幸隆	大津 浩
9	松尾 俊輔	松尾 俊輔	江島 晶子	亀本 洋
10	辻岡 宏子	田中ひかる	陶安あんど	佐藤 智恵
11	矢ヶ崎淳子	多田 聡	山部 俊文	柳川 鋭士
12	堀田 秀吾	斎藤 英治	黒澤 睦	星野 茂
13	田中ひかる	中村 和恵	太田 勝造	江藤 英樹
14	西川 和孝	加藤 徹	西元 宏治	横田 明美
15	田島 優	西垣 学	金子 敏哉	高木 正則
16	川野 明正	田島 優	山川 隆一	亀田浩一郎
17	鈴木 哲也	西川 和孝	斎藤 一久	小西 知世
18	上村 威	堀田 秀吾	横田 明美	斎藤 一久
19	神田 正行	神田 正行	小西 知世	辻 雄一郎
20	多田 聡	矢ヶ崎淳子	柳川 鋭士	神田 英明
21	ダン, ジェームス D.	川野 明正	神田 英明	水田 周平
22	西垣 学	鈴木 哲也	水田 周平	陳 亮
23	越門 勝彦	辻岡 宏子	陳 亮	福井 清貴
24	加藤 徹	上村 威	福井 清貴	都筑 満雄
25	釜崎 太	小財 陽平		
26				
30~				岡田 洋一

## 2 和泉キャンパス案内



### 事務室について(第一校舎 1階)

#### 法学部事務室

平日 9:00~11:30/12:30~17:00  
土曜日 9:00~12:30  
授業、学籍(住所や電話番号の変更も含む)、  
進級・卒業・進学、試験、成績、各種申請等  
を取り扱います。  
※4月1日~30日および9月20日~30日  
の平日の取扱時間は、17時30分まで延長し  
ます。

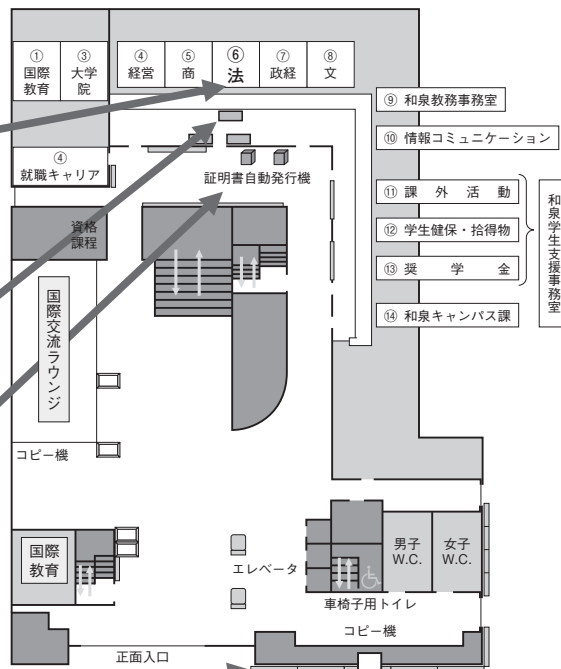
#### 法学部レポート提出BOX

#### 証明書自動発行機

在学証明書、成績証明書、学割証、学生証再  
交付願等を発行できます。学生証と共通認証  
用パスワードが発行には必要です。

#### 法学部掲示板

大学や学部からのお知らせは、掲示板または  
Oh-o! Meijiを通して行われます。登校したら  
必ず確認するよう、心がけてください。



## 2024年度 履修計画表

時限			月	火	水	木	金	土
M	モーニングモジュール(8:00~8:50)							
1	春学期	科目						
		担当者						
	秋学期	科目						
担当者								
キャンパス			駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉
2	春学期	科目						
		担当者						
	秋学期	科目						
担当者								
キャンパス			駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉
L	ランチモジュール(12:35~13:25)							
3	春学期	科目						
		担当者						
	秋学期	科目						
担当者								
キャンパス			駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉
4	春学期	科目						
		担当者						
	秋学期	科目						
担当者								
キャンパス			駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉
5	春学期	科目						
		担当者						
	秋学期	科目						
担当者								
キャンパス			駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉
6	春学期	科目						
		担当者						
	秋学期	科目						
担当者								
キャンパス			駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉	駿河台・和泉
N	ナイトモジュール(20:50~21:40)							

合計単位数記入欄(卒業要件内単位のみ)

		履修単位数		年 組 番				氏名			
	春学期		単位	学生番号							
	秋学期		単位								
	計		単位	1	1	1	0				